

健 ・ 康 ・ 建 ・ 材



that's the idea !

エコカラット

張って健康「呼吸する壁」



施工マニュアル

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 安全に関するご注意 | 1 |
| 適用場面 | 2 |
| 施工手順 | 2 |
| 工程フロー | 2 |
| 構成材料一覧 | |
| パッチンカラット 303 角平 345 角平 455 角平 | 3 |
| パッチンカラットプレシャスモザイクカッセ | 5 |
| パッチンカラットプレシャスモザイクロッシュ | 6 |
| パッチンカラットブリック | 7 |
| パッチンカラットストーン | 8 |
| 使用工具 | 9 |
| 下地の作製 | 10 |
| 下地の検査 | 10 |
| 下地精度の確認 | 10 |
| 下地種類の確認 | 10 |
| 既存壁面の確認 | 11 |
| 下地の補修（リフォーム） | 11 |
| パッチンカラット 303 角平 345 角平 455 角平編 | 12 |
| 割り付け | 12 |
| 1 段目の天端の墨出し | 12 |
| 接着剤の塗布 | 12 |
| パッチンカラットの取り付け | 13 |
| 床取り合い部の納まり | 14 |
| 天井取り合い部の納まり | 14 |
| 入隅の納まり | 15 |
| 出隅の納まり | 16 |
| 開口取り合い部の納まり | 16 |
| パッチンカラットプレシャスモザイクカッセ・シンプル編 | 17 |
| 割り付け | 17 |
| 巾木の取り付け | 17 |
| 1 段目の天端の墨出し | 18 |
| 接着剤の塗布 | 18 |
| パッチンカラットプレシャスモザイクカッセの取り付け | 19 |
| 床取り合い部の納まり | 19 |
| 天井取り合い部の納まり | 20 |
| 出隅の納まり | 20 |

| | |
|------------------------------|----|
| 入隅の納まり | 21 |
| 開口廻りの納まり | 22 |
| 大面積での施工方法 | 22 |
| パッチンカラットプレシヤスマザイクロッシュ編 | 23 |
| 割り付け | 23 |
| 巾木の取り付け | 23 |
| 1段目の天端の墨出し | 24 |
| 接着剤の塗布 | 24 |
| 取り付け | 25 |
| 各部の納まり | 28 |
| パッチンカラットブリック編 | 29 |
| 割り付け | 29 |
| 開口上下取り合いの割り付け | 30 |
| 巾木の取り付け | 31 |
| 1段目の天端の墨出し | 31 |
| 接着剤の塗布 | 32 |
| 出隅の取り付け | 32 |
| 202×50角シート張りの取り付け | 32 |
| 縦平の取り付け | 34 |
| タイル張り | 34 |
| パッチンカラットストーン編 | 35 |
| 割り付け | 35 |
| 墨出し | 36 |
| 接着剤の塗布 | 36 |
| パッチンカラットストーンの取り付け | 37 |
| 床取り合い部の納まり | 38 |
| 天井取り合い部の納まり | 38 |
| 入隅の納まり | 39 |
| 出隅の納まり | 40 |
| 開口取り合い部の納まり | 40 |
| 加工編 | |
| 直線切断 | |
| 303角平 345角平 455角平 ストーン(ブリック) | 41 |
| プレシヤスマザイクカッセ シンプル ロッシュ ブリック | 42 |
| 穴あけ加工 | 43 |
| L字切断 | 43 |
| 各種見切り材の取り付け | 44 |
| カラットコーク処理 | 44 |
| 清掃・点検 | 44 |
| 特殊施工法 | 45 |

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容
をご理解のうえ正しく施工して下さい。

安全に関するご注意


安全のために守って下さい。!


商品を安全に施工するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき事故のないように施工してください。


(用語および記号の説明)

警告・・・「取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意・・・「取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険が生じることが想定されます。」

・・・「注意しなさい!」(上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守り下さい。)

・・・「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

・・・「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

 **警告**

トリマー、ロータリーカッター、カッターナイフ、切断丸のこ、エアータッカー等の電動工具や刃物を取り扱う際には各商品の「使用上の注意」をよく読んでから作業を行って下さい。また、回転工具を使用する際には保護メガネ、防塵マスクを着用すると同時に集塵を行って下さい。



商品・施工方法についてのお問い合わせ

(株) INAX「お客様相談センター」電話 **0562-31-0793**

受付時間 平日 9:00~19:00

土日・祝日 10:00~18:00

適用場面

エコカラットは調湿、脱臭、VOC吸着機能を持った内装用の建材です。

居間、トイレ、洗面脱衣所、台所、玄関壁、廊下壁等で効果を発揮します。

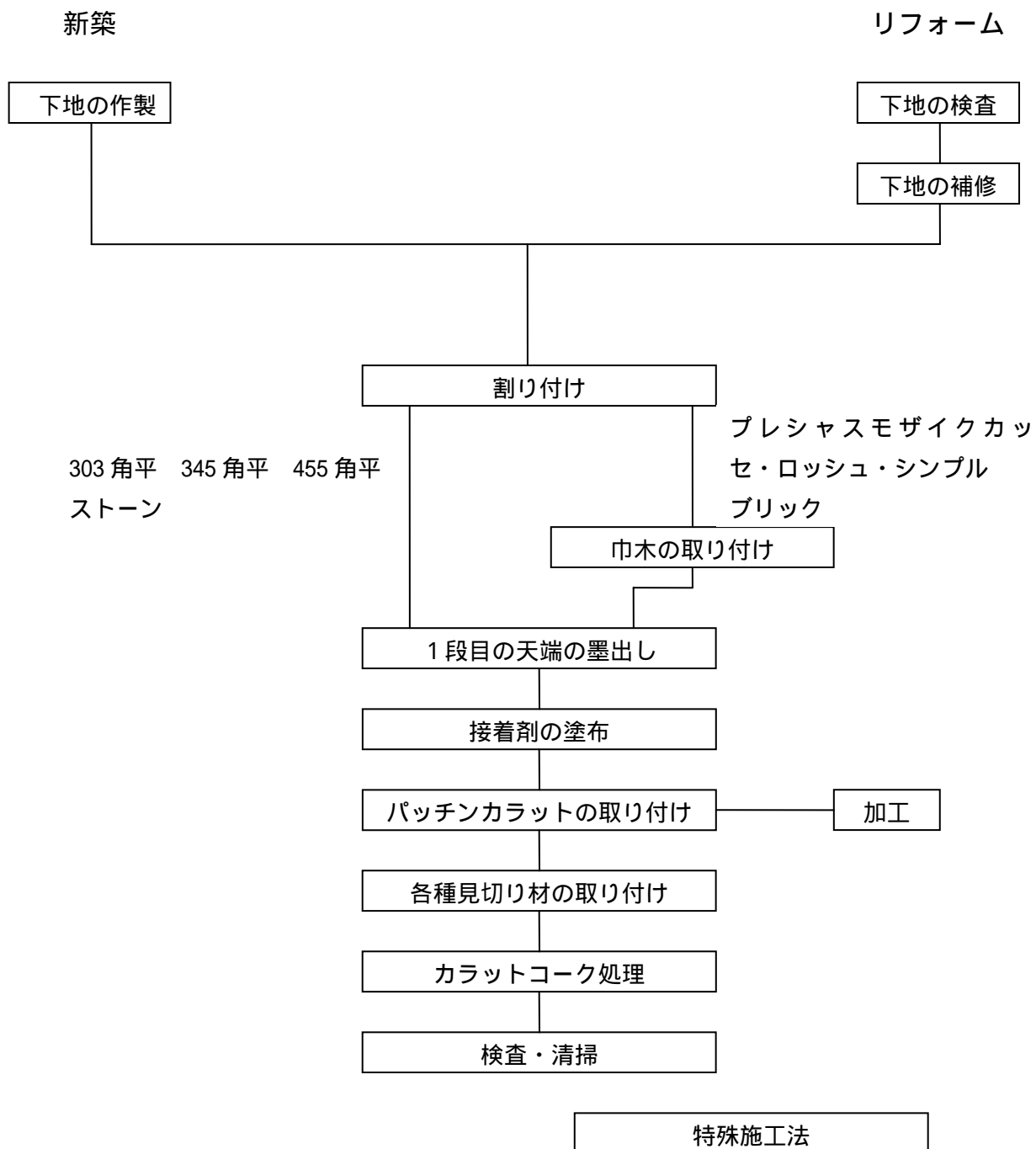
屋外、浴室、床、レンジ回り(キッチンバック)、清掃により頻繁に水汚れが心配される業務用の厨房・公共トイレの腰壁等では使用できません。

施工手順

パッチンカラットは以下の工程フローに沿って施工を行います。

リフォームの場合には下地の検査で問題なければそのまま施工できます。下地に問題がある場合には補修をするか新たに下地を作製する必要があります。

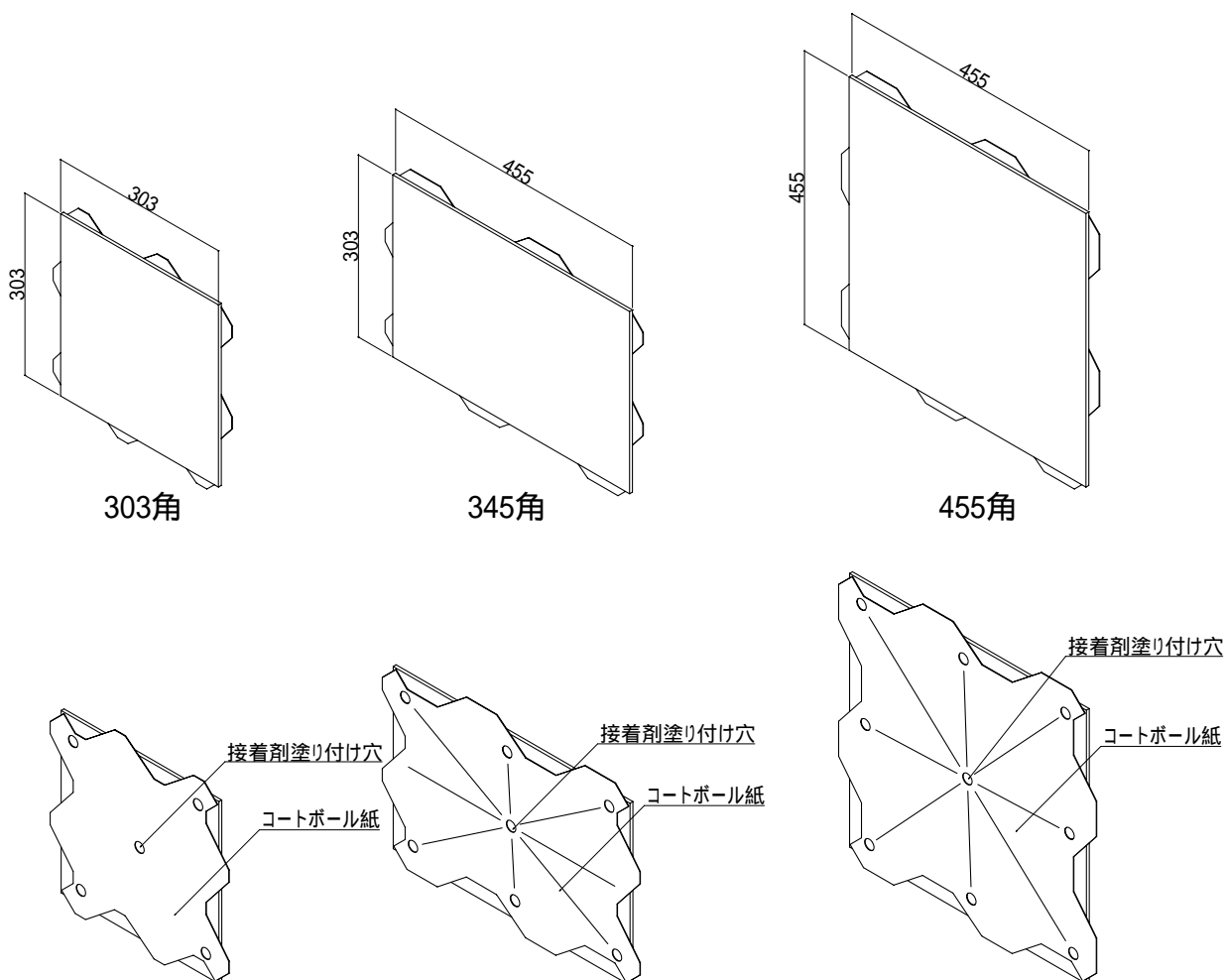
工程フロー

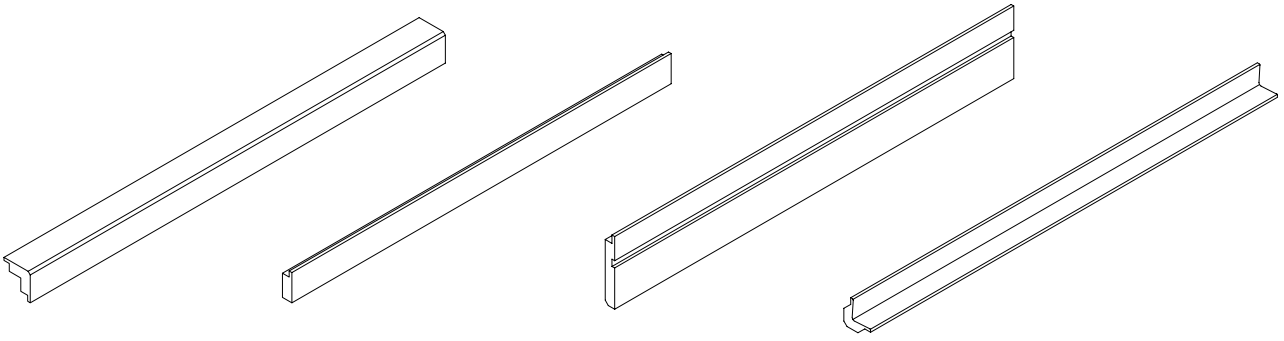


構成材料一覧

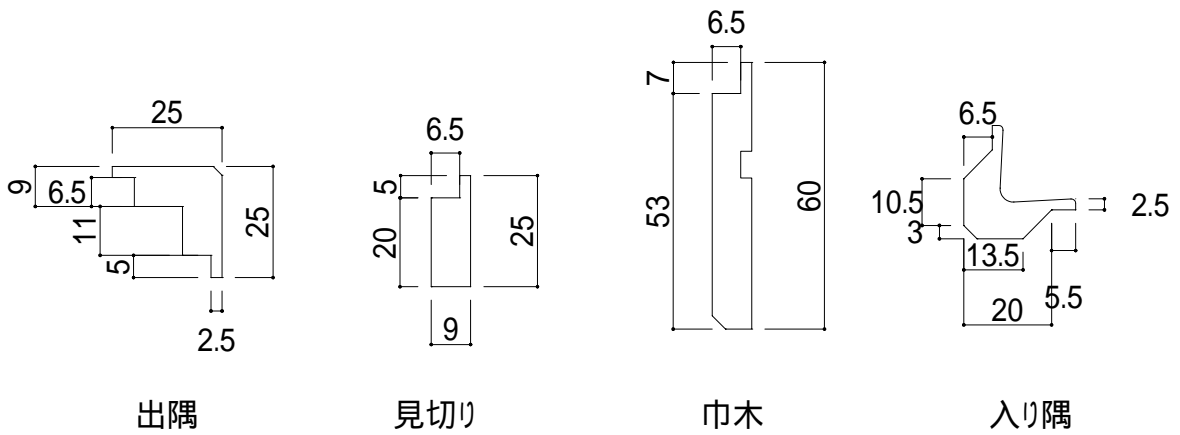
パッチンカラット 303 角平 345 角平 455 角平

| 品名 | 品番 | 仕様 |
|-----------------|------------|------------------------------|
| パッチンカラット 303 角平 | ECOP-303/ | 11.3 枚/m ² 20 枚/梱 |
| パッチンカラット 345 角平 | ECOP-345/ | 7.5 枚/m ² 10 枚/梱 |
| パッチンカラット 455 角平 | ECOP-455/ | 5 枚/m ² 10 枚/梱 |
| ウッディモール出隅 | ECK-D/1~6 | 2700mm 6 本入り |
| ウッディモール見切り | ECK-N/1~6 | 2700mm 10 本入り |
| ウッディモール巾木 | ECK-HB/1~6 | 2700mm 5 本入り |
| ウッディモール入隅 | ECK-IR/1~6 | 2700mm 6 本入り |
| スーパーエコぬーる | ECN3-1KG | 1kg 入り 8 m ² /本 |
| カラットコーク | ECC/ | 250g 入り 7~8m/本 |





エコカラットモルディングシステム



出隅

見切り

巾木

入り隅



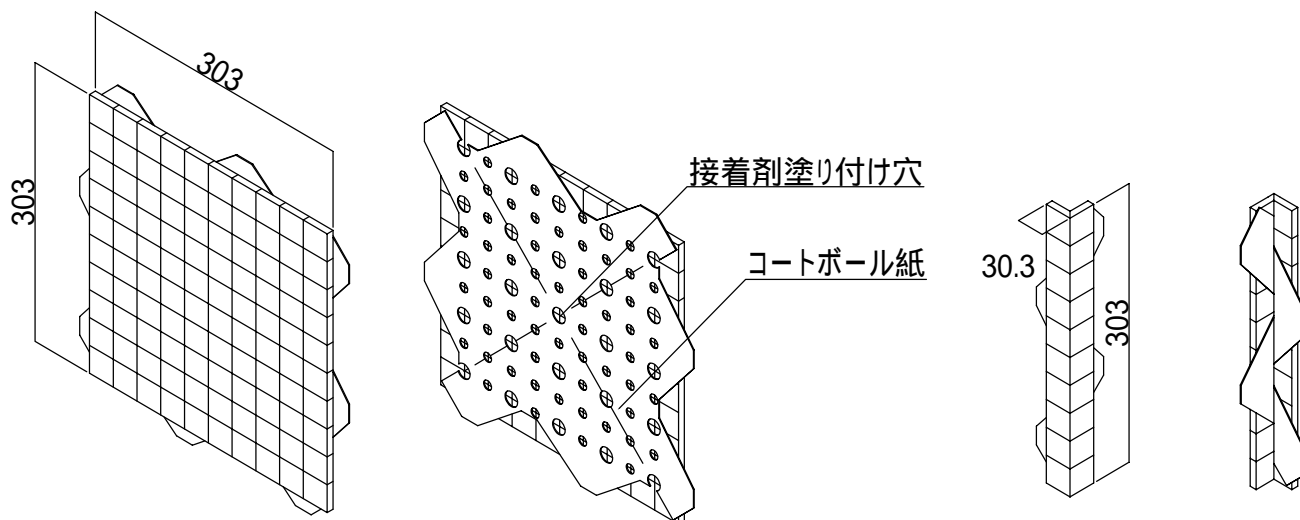
スーパーエコぬーる



カラットコーク

パッチンカラットプレシャスマosaicカッセ・シンプル

| 品名 | 品番 | 仕様 |
|-----------|-----------------|----------------------------|
| 30角ネット張り | ECOP-30NET/ | 11.3枚/m ² 10枚/梱 |
| 90°曲ネット張り | ECOP-30N/90-14/ | 3.4シート/m 10シート/梱 |
| スーパーエコぬーる | ECN3-1KG | 1kg入り 1.2m ² /本 |
| カラットコーク | ECC/ | 250g入り 7~8m/本 |
| カラットホイール | DW-80ECO | 刃厚1.6mm 外径80 |



30角ネット張り

90°曲ネット張り



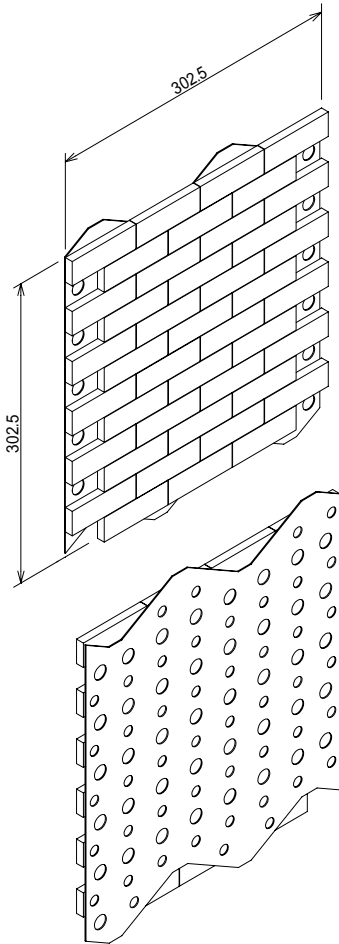
スーパーエコぬーる



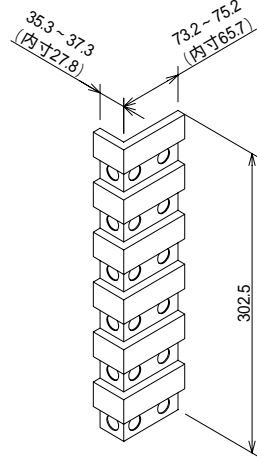
カラットコーク

パッチンカラットプレシヤスマザイク ロツシュ

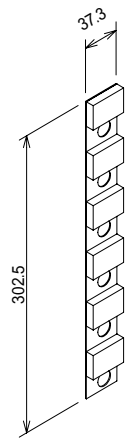
| 品名 | 品番 | 仕様 |
|----------------------|------------------|------------------------------|
| 25×75mm 角ネット張り | ECOP-275NET/ | 11.3 枚/m ² 10 枚/梱 |
| 90° 曲ネット張り | ECOP-275N/90-14/ | 3.4 シート/m 4 シート/梱 |
| 25×75mm 角 (短辺) ネット張り | ECOP-275N1/ | 3.4 シート/m 4 シート/梱 |
| スーパーエコぬーる | ECN3-1KG | 1kg 入り 0.5 m ² /本 |
| カラットコーク | ECC/ | 250g 入り 7~8m/本 |
| カラットホイール | DW-80ECO | 刃厚 1.6mm 外径 80 |



25×75mm 角ネット張り



90° 曲ネット張り



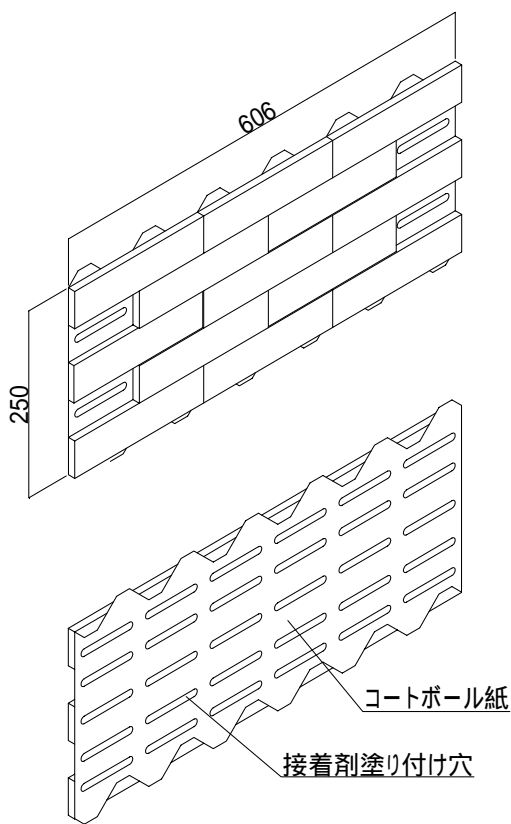
25×75mm 角 (短辺) ネット張り



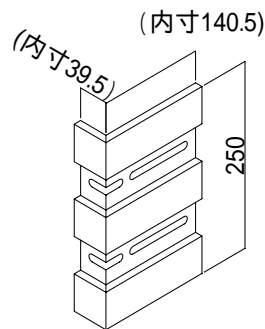
カラットコーク

パッチンカラットブリック

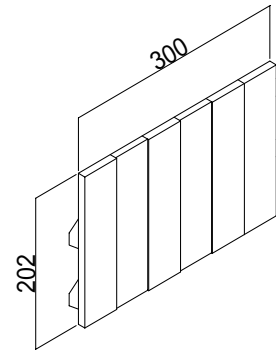
| 品名 | 品番 | 仕様 |
|--------------------------|------------|--|
| 202×50 角シート張り | ECOP-250/ | 7シート/m ² 7シート/梱 バラ 15枚入り |
| (151×50)×50 角曲りシート 張り | ECOP-2501/ | 4.1シート/m 5シート/梱 出隅バラ 11個入り |
| 202×50 角縦平シート張り | ECOP-250T/ | 3.4シート/m 10シート/梱 |
| スーパーエコぬーる | ECN3-1KG | 1kg入り 1.2m ² /本 |
| カラットコーク | ECC/ | 250g入り 7~8m/本 |
| カラットホイール | DW-100ECO | 刃厚 1.6mm 外径 100 |



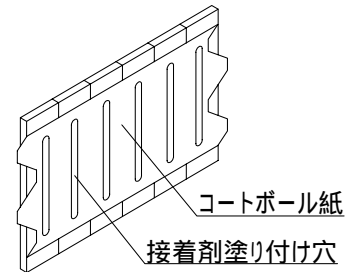
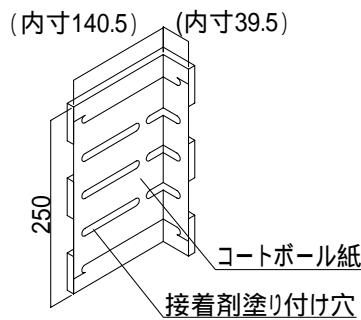
202×50角シート張り



(151×50)×50角曲りシート張り



202×50角縦平シート張り



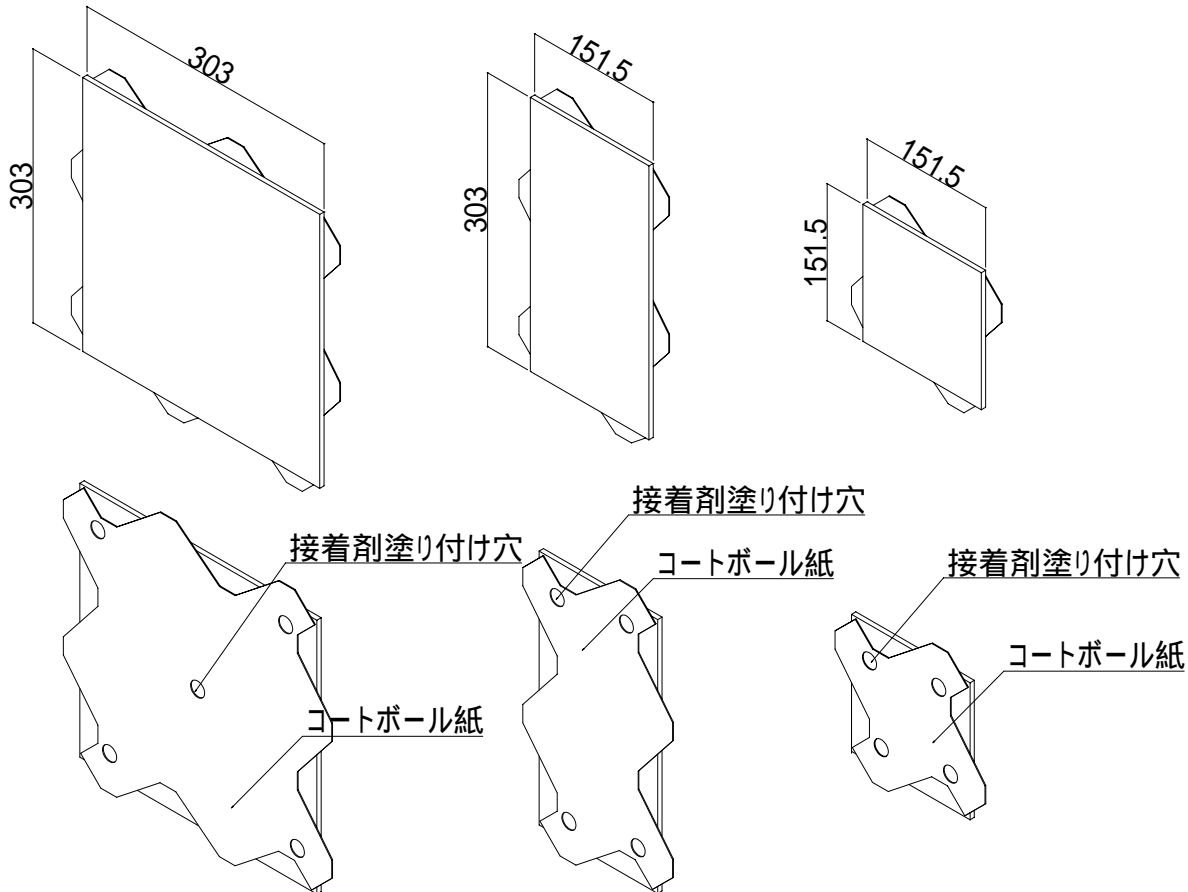
スーパーエコぬーる



カラットコーク

パッチンカラットストーン

| 品名 | 品番 | 仕様 |
|------------|------------|--|
| 異形状セット | ECOP-SET/ | 303角 6枚 303×151角 4枚 151角 4枚 1.3セット/m ² |
| 303角平 | ECOP-303/ | 11.3枚/m ² 10枚/梱 |
| 303×151角平 | ECOP-315/ | -枚/m ² 20枚/梱 |
| 151角平 | ECOP-151/ | -枚/m ² 40枚/梱 |
| ウッディモール出隅 | ECK-D/1~6 | 2700mm 6本入り |
| ウッディモール見切り | ECK-N/1~6 | 2700mm 10本入り |
| ウッディモール巾木 | ECK-HB/1~6 | 2700mm 5本入り |
| ウッディモール入隅 | ECK-IR/1~6 | 2700mm 6本入り |
| スーパーエコぬーる | ECN3-1KG | 1kg入り 8m ² /本 |
| カラットコーク | ECC/ | 250g入り 7~8m/本 |



スーパーエコぬーる



カラットコーク

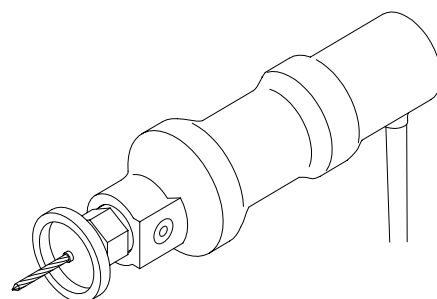
使用工具

パッチンカラットの施工には以下の工具が必要です。専用のスターターキットを用意しております。

専用工具

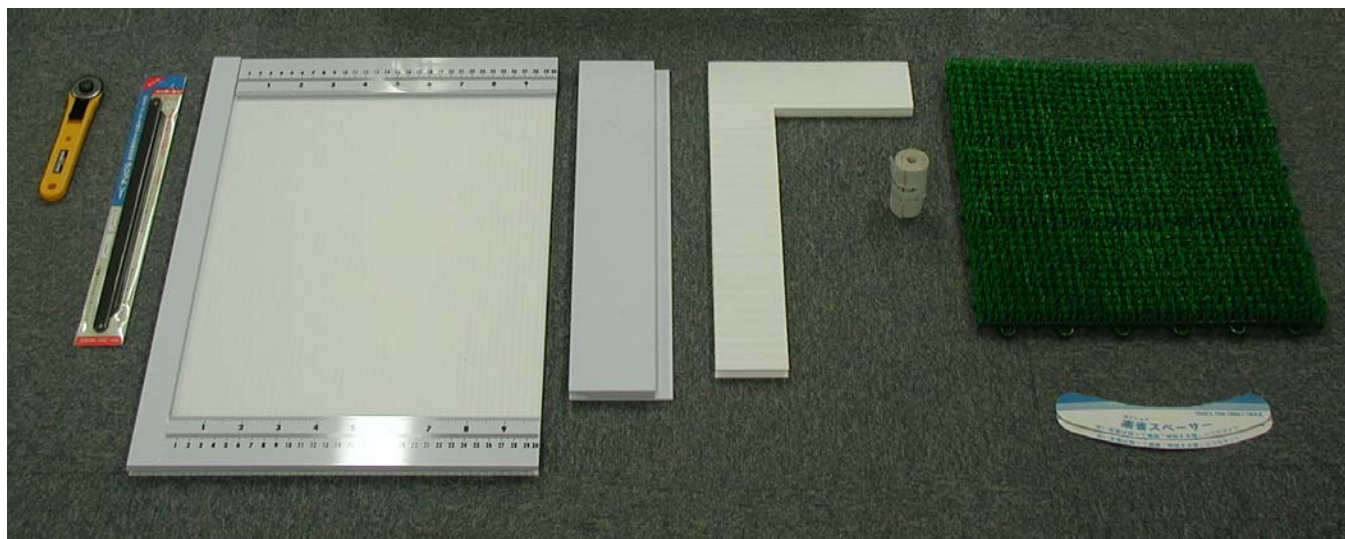
スターターキット

| | |
|-------------|------------|
| ロータリーカッター | エコカラットの切断 |
| 切断台 | 〃 |
| 切断定規（折り板付き） | 〃 |
| 石切りのこ | L字切断 |
| L字切断定規 | 〃 |
| ペーパーサンダー | 切断面のサンディング |
| 芝生マット | カッター使用時の防塵 |



トリマー（推奨：マキタ ボード穴あけカッタ 3706） 穴あけ加工
 （専用トリマビット：INAX ECTB-3D）

カラットトリマ、マルチボードドリカッターも使用できます。



標準工具

| | |
|------------|--------------------|
| エアータッカー | エコカラットの留め付け |
| コンプレッサー | エアータッカー、フィニッシュネイラ用 |
| スライド丸のこ | 見切りの切断 |
| フィニッシュネイラ | 見切り材の留め付け |
| 掃除機/エアダスター | 切断粉の除去 |
| カッターナイフ | 裏打ち材、耳部の切断 |
| スケール | 割り付け等 |
| 水準器（レーザー） | 水平レベルの確認 |

下地の作製

パッチンカラットの下地は石こうボード（9.5mm以上）等のボード下地として下さい。

石こうボードの留め付け胴縁は格子 455mm または横胴縁 303mm として下さい。

くぎ、ねじの留め付け位置・間隔はボードメーカー指定の工法として下さい。

くぎまたはねじ頭がボードより突き出さないようにして下さい。

ボードジョイント部の段差、目違いがないようにして下さい。

下地の精度は±1mm/2m以下として下さい。

下地種類

| 下地種類 | 厚さ |
|-----------|----------|
| 石こうボード | 9.5mm 以上 |
| ケイ酸カルシウム板 | 6mm 以上 |
| 合板 | 5.5mm 以上 |

下地の検査（リフォーム）

パッチンカラットは以下の項目を満たしていればリフォームでも使用できます。

リフォームで使用する場合には**必ず事前の現場調査を行って施工の可否を確認**して下さい。

事前確認

1 下地精度の確認

面段差がなく平面であること

下地の精度は±1mm/2m以下であることを確認します。

2 下地種類の確認

| 下地種類 | 厚さ | 表面材 | 適用 | 備考 | 対策 |
|-------------|----------|-----|----|-----------|--------------|
| 石こうボード | 9.5mm 以上 | クロス | | | |
| ケイ酸カルシウム板 | 6mm 以上 | クロス | | | |
| 合板 | 5.5mm 以上 | クロス | | | |
| コンクリート | | クロス | | タッカー留め不可能 | 特殊施工法を参照下さい。 |
| モルタル・コンクリート | | タイル | | タッカー留め不可能 | |
| 石こうボード | | タイル | | タッカー留め不可能 | |
| 鉄板 | | 鉄板 | | タッカー留め不可能 | |
| 土壁 | | 塗り材 | × | タッカーが効かない | 対応不可 |
| 土壁 | | 漆喰 | × | タッカーが効かない | |

合板が薄い場合には増し打ちをして強度を確保して下さい。

クロスの種類によっては接着強度がでないものがあります。

注意

クロスの素材にはいろいろな種類があります。ビニル系、布系の場合は十分な付着強度がありますが、紙系（ケナフ紙を含む）やオレフィン系（非塩ビ系）等では強度が出ません。目視で材質が判断できない場合などは壁紙を剥がしてから施工して下さい。

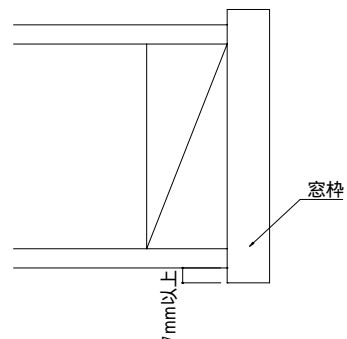
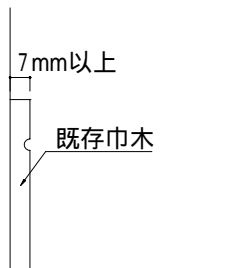
3. 既存壁面の確認

壁を押して動かないことを確認します。

巾木がついている場合は出が7mm(10mm)以上あることを確認して下さい。

窓廻りには窓枠があり、7mm(10mm)以上でていることを確認してください。

()内はブリック、カッセの場合



下地の補修（リフォーム）

壁を押さえて簡単に動く場合には下地を補強するなどの処置をとって下さい。

巾木の出が7mm以下の場合には新たに巾木を取り付けて下さい。

窓廻りがクロス仕上げの場合には窓枠を取り付けて下さい。

既存壁に不陸等の問題があり施工できない場合は新たに下地を作製して下さい。

下地の作製は新築時と同様の手順で行ってください。

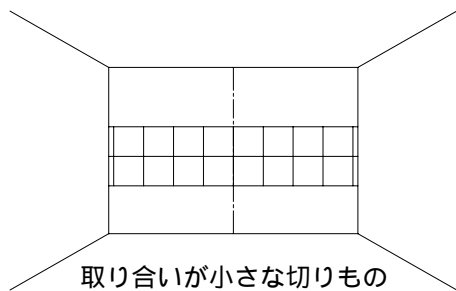
パッチンカラット 303 角平 345 角平 455 角平編

割り付け

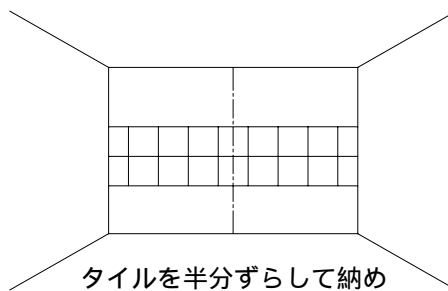
施工する壁面の幅と高さを測定しエコカラットを割り付けます。

左右の割り付けは左右均等割りを基準とします。

取り合い部分に小さな切り物が入らないように割り付けます。



取り合いが小さな切りもの
になる場合



タイルを半分ずらして納め
ます

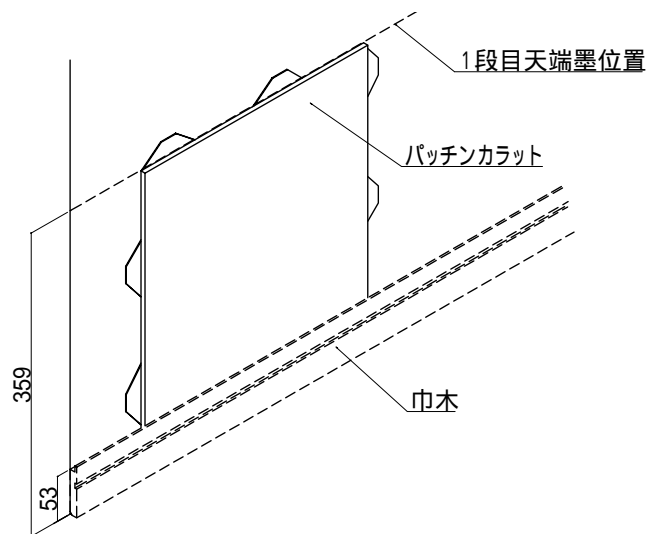
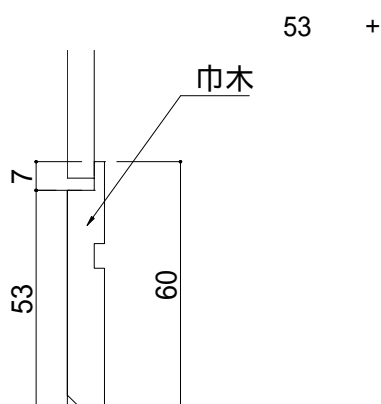
左右均等割り付けが標準

1 段目の天端の墨出し

床との取り合い部にはウディモール巾木を使用します。

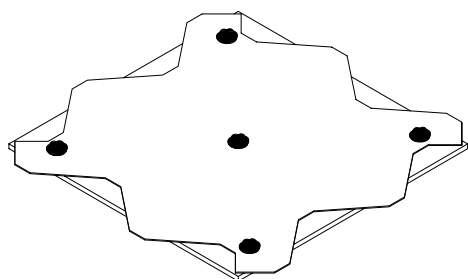
床から 359mm (303mm + 53mm + 3mm) の位置に 1 段目の上端
の墨出しを行います。

455 角は 511mm (455mm +
3mm) となります。



接着剤の塗布

裏側の丸穴部分に接着剤スーパーエコぬーるを塗布します。接着剤は穴がかくれるくらいの量としてください。



△注意

- ・ 接着剤が皮膚に触れると肌荒れの原因となる場合があります。
- ・ 接着剤が目に入った場合は、水でよく洗い流し異常のあるときは医師の診断を受けて下さい。

パッチンカラットの取り付け

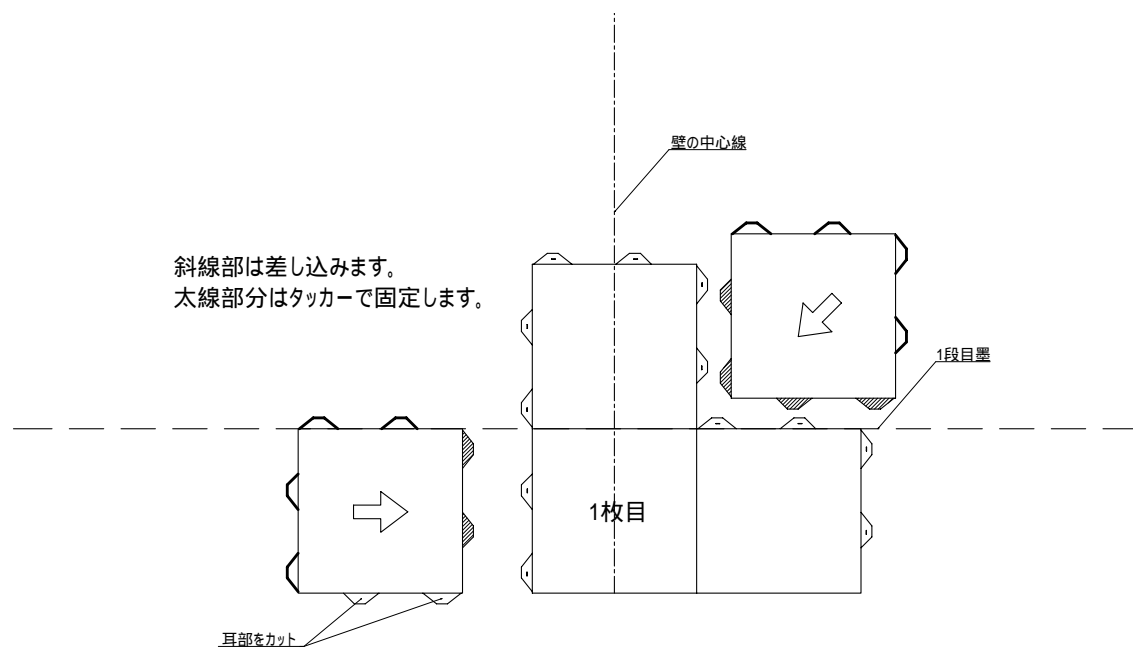
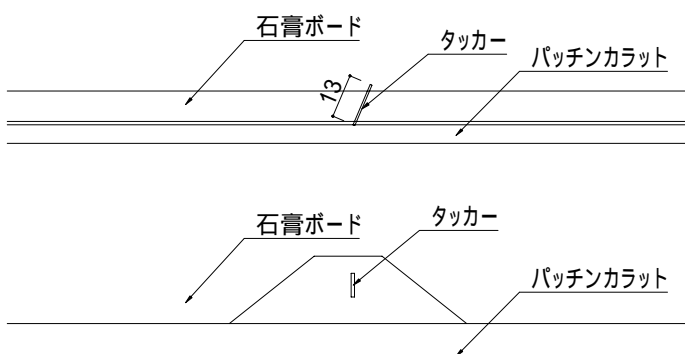
壁の中心から左右に向かって取り付けます。

留め付けには肩幅7mm以上足長さ7~13mmのタッカー（ハンド、エアー、電動等）を使用してください。

タッカーの打ち込みは壁面に対して斜めとなるようにしてください。

コンプレッサーを使用する場合は（エアーカッター）紙を貫通しない程度の圧力としてください。

線形の細かいハンドカッターの場合、合板には打ち込めない場合があります。



△注意

- ・ エアータッカー等を使用する場合は「使用上の注意」をよく読んでから作業を行って下さい。

広い面積に施工する場合には目地間にスターターキット付属の楽省スパーサーを挟み目地を調整しながら施工すると仕上がりがきれいになります。

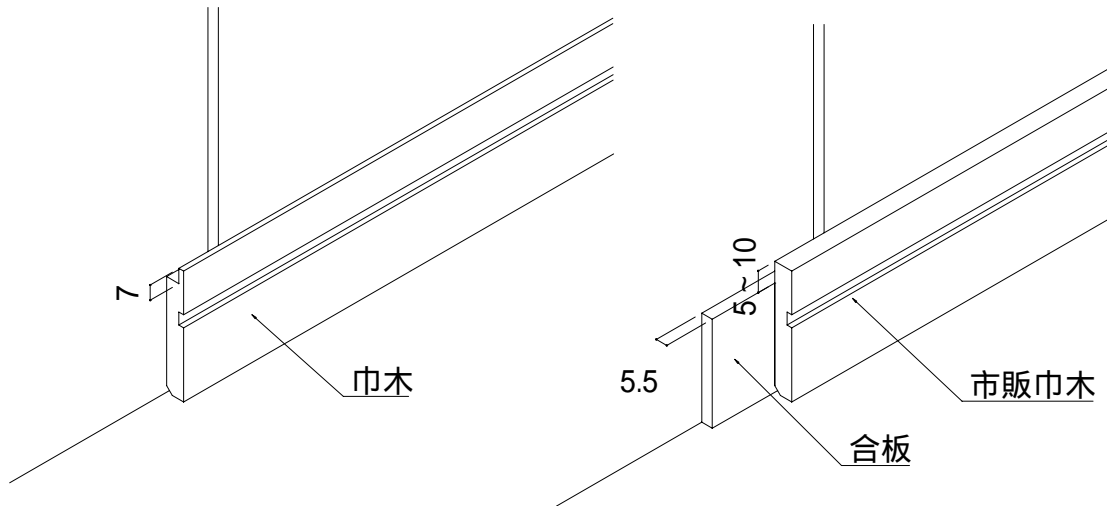


床取り合い部の納まり

飲み込みタイプのウッディモール巾木を使用して納めます。

巾木を先に取り付けてしまうとエコカラットの差し込みが困難な場合があります。巾木は後施工をお奨めします。

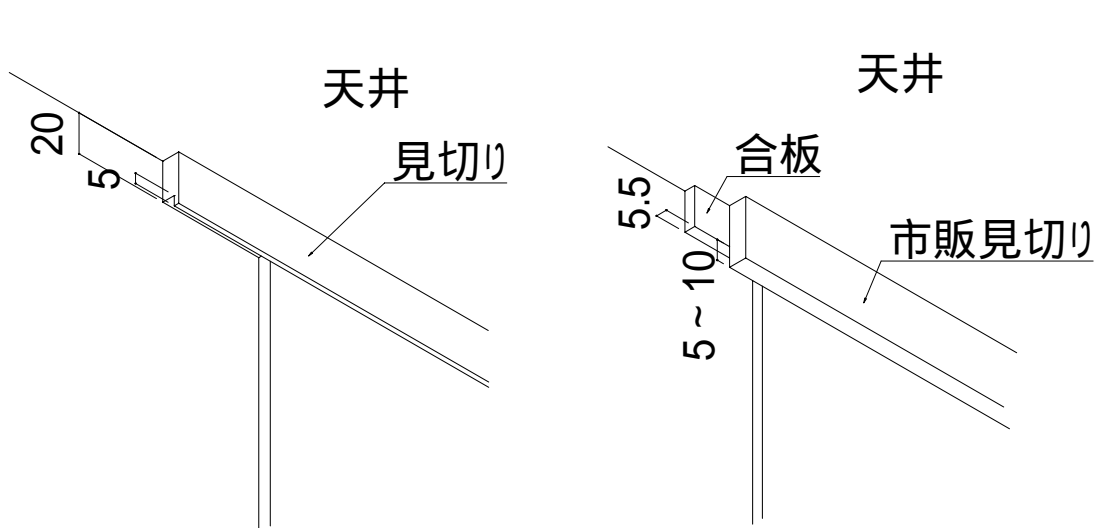
他の壁面で使用する巾木とウッディモールの色合いが合わない場合には5.5mm合板を裏打ちすると市販巾木でも納めることができます。



天井取り合い部の納まり

天井との取り合いにはウッディモール見切りを使用して納めます。

見切りもエコカラット取り付け後に取り付けます。エコカラットは天井から21mm控えて取り付けます。



巾木同様に5.5mm合板を裏打ちすれば市販見切りで納めることができます。

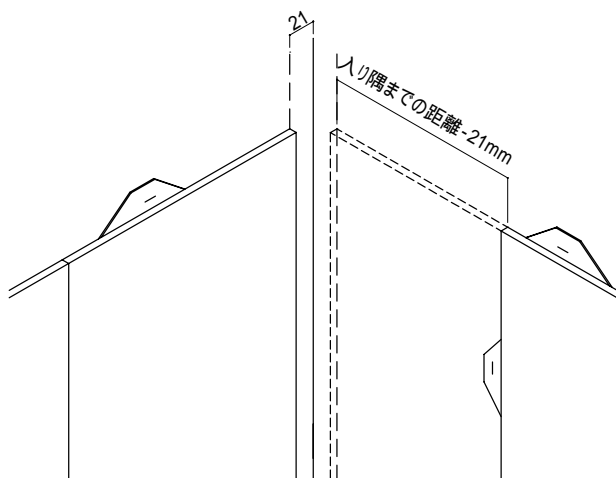
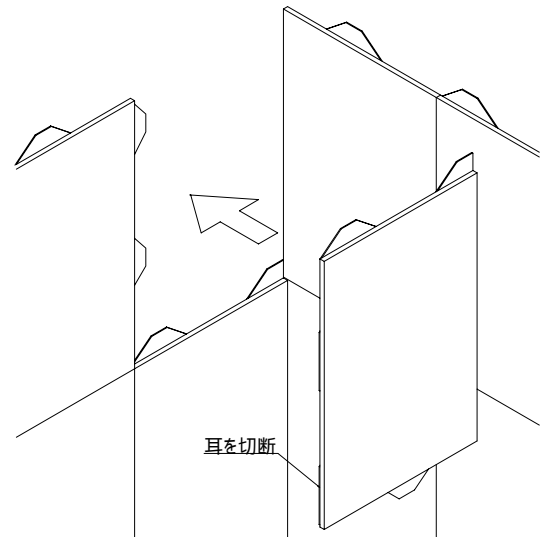
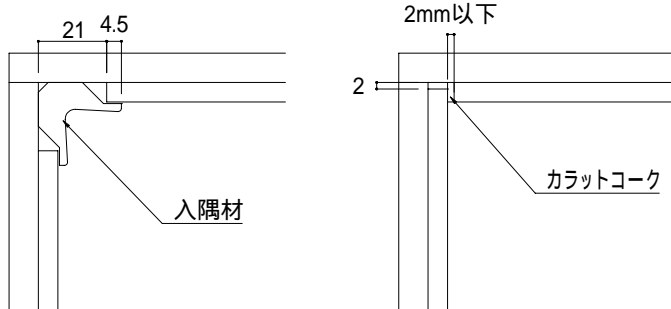
入隅の納まり

入隅はカラットコークまたは入り隅材で納めます。

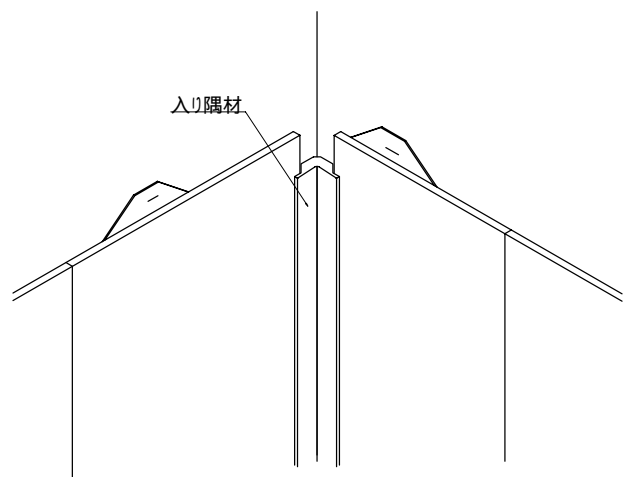
カラットコークで仕上げる場合にはスライド差し込みができなくなりますので横の耳をカットしてエコカラットを取り付けます。

入り隅材はエコカラットを入隅から 21mm 控えた位置まで取り付けた後に取り付けます。

入り隅材はフィニッシュネイラで固定します。



エコカラットの取り付け

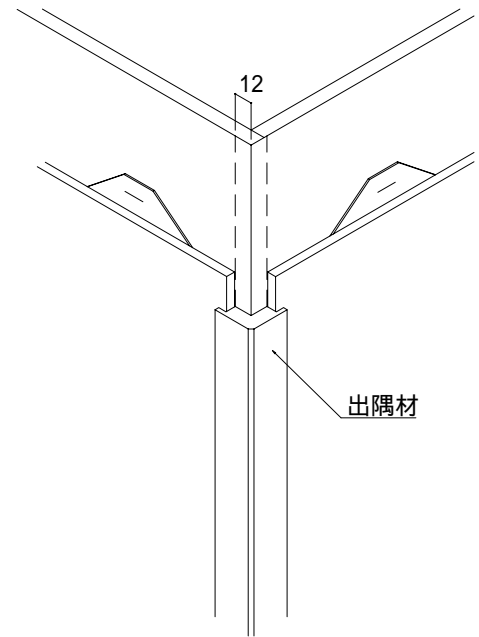
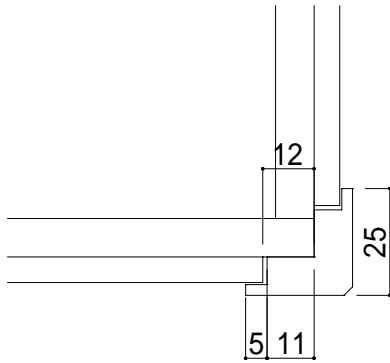


入り隅材の取り付け

出隅の納まり

出隅部はウディモール出隅を使用して納めます。

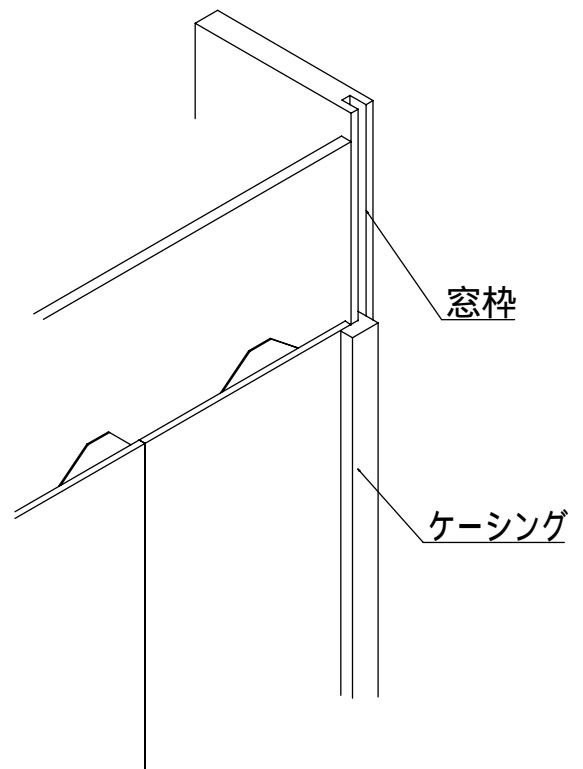
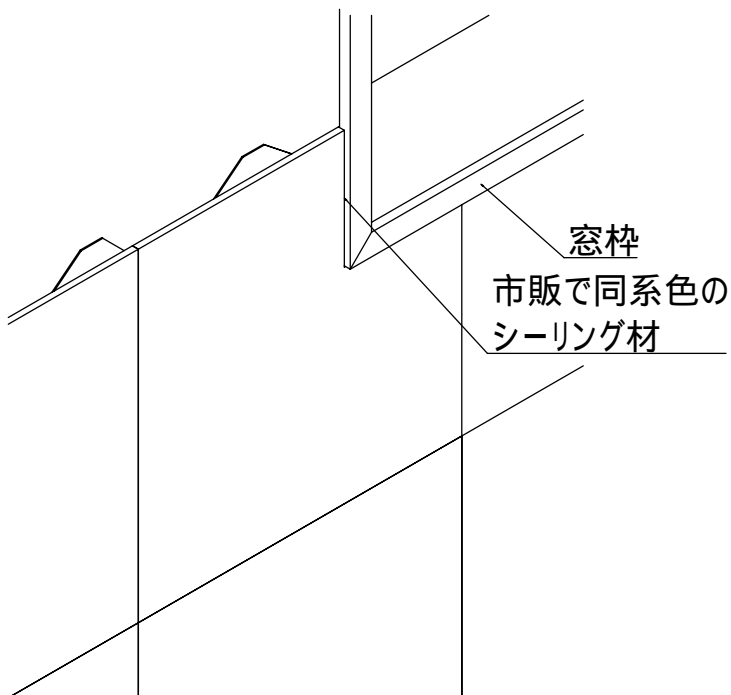
エコカラットを石膏ボードのコーナーから 12mm 控えた位置まで張った後、フィニッシュネイラ等を用いて取り付けます。



開口取り合い部の納まり

開口との取り合いは市販で同系色のシーリング材(窓枠と同系色のものを使っても結構です。)または市販のケーシングで納めることをお奨めします。

窓との取り合いでは 2mm 程度あけて取り付けます。



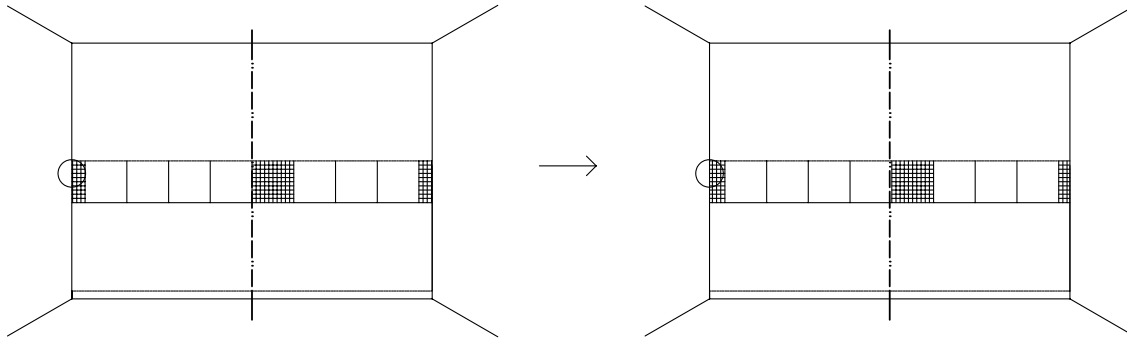
303 角平と 345 角平、455 角平は耳形状が異なります。張り合わせする際には耳をカットして下さい。

パッチンカラットプレシャスモザイクカッセ・シンプル編

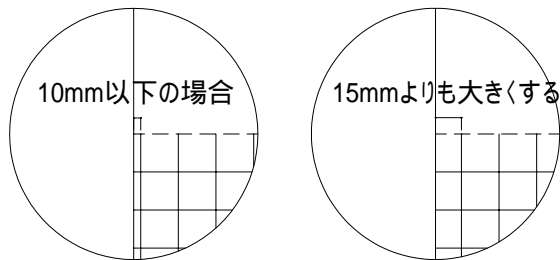
割り付け

左右方向の割り付け

基本的には左右均等割り付けとします。その際、両端の入り隅取り合いのタイル寸法が10mm以下となる場合には中心を15mm（タイルの半分）ずらして下さい。



入り隅取り合いのタイル寸法が10mm以下となる場合には15mmずらします。



15mm左右どちらかに移動

片追いの場合、下地の建ちがでていないと上部で開いて納まらなくなることがあります。必ず心割りとして下さい。

出隅に出隅コーナーを使用する場合には、出隅から片追いして入り隅で切断して下さい。

上下方向の割り付け

巾木からの積み上げ施工とします。天井との取り合いは空目地または市販で同系色のシーリングで処理するか市販の見切りを使用して納めて下さい。

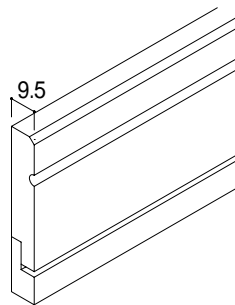
巾木の取り付け

巾木を水平に取り付けます。巾木は幅が9mm以上のものを使用して下さい。

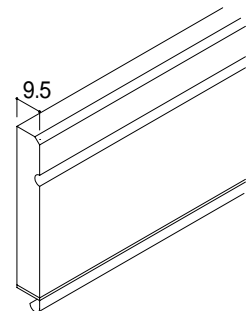
巾木の水平がでていないと巾木との間に隙間が空いたり入らない箇所がでます。

必ず水平に取り付けて下さい。

リフォームで床が波打っている場合にはクッション巾木や二段巾木を使用して巾木の上端が水平になるようにして下さい。



二段巾木

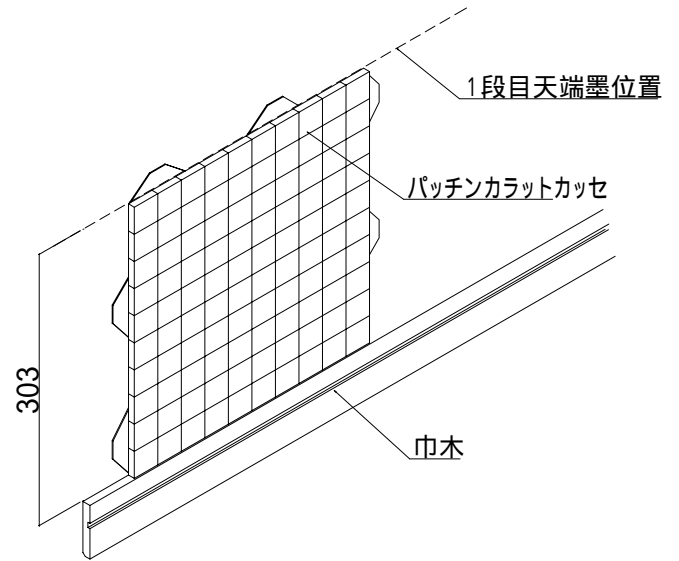


クッション巾木

1 段目天端の墨出し

巾木から 303mm の位置に水平墨を打ちます。

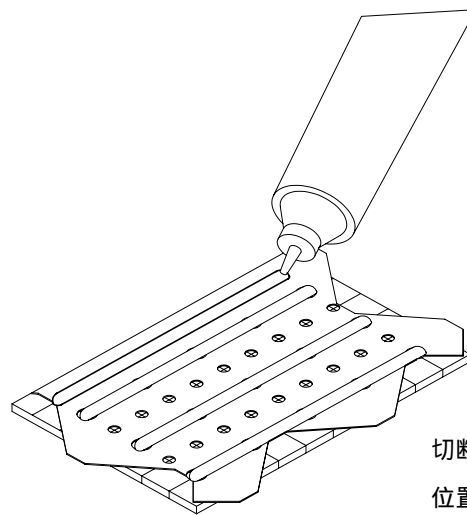
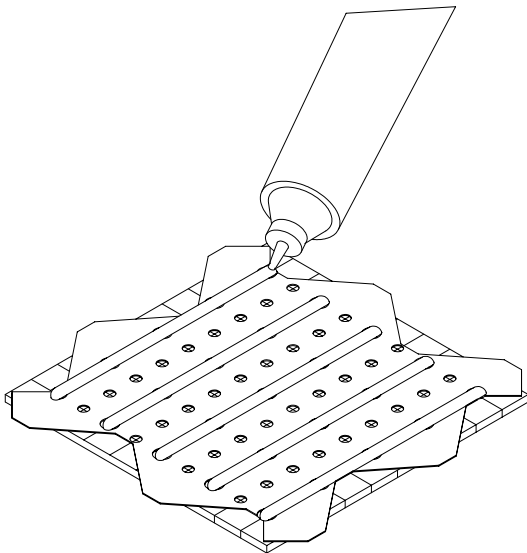
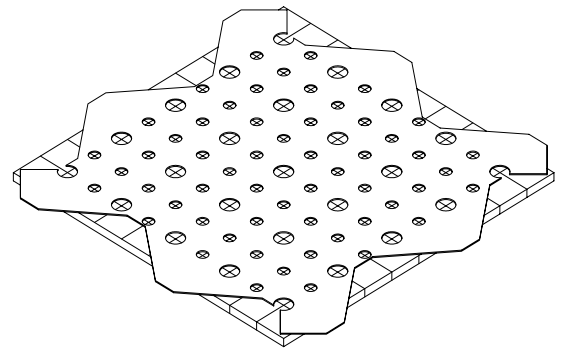
巾木が水平に取り付けてある場合は巾木を基準として乗せて施工することができます。



接着剤の塗布

裏側の接着剤塗りつけ穴 (25 カ所) に接着剤スーパーエコぬゝるを塗布します。接着剤は穴がかくれるくらいの量を塗布してください。ビードで塗りつけると効率よく作業できます。

接着剤の使用量はビード塗布の場合 1.2 m²/本、25 点付けの場合 1.8 m²/本となります。



切断した場合には一番近い位置で接着剤を塗布して下さい。

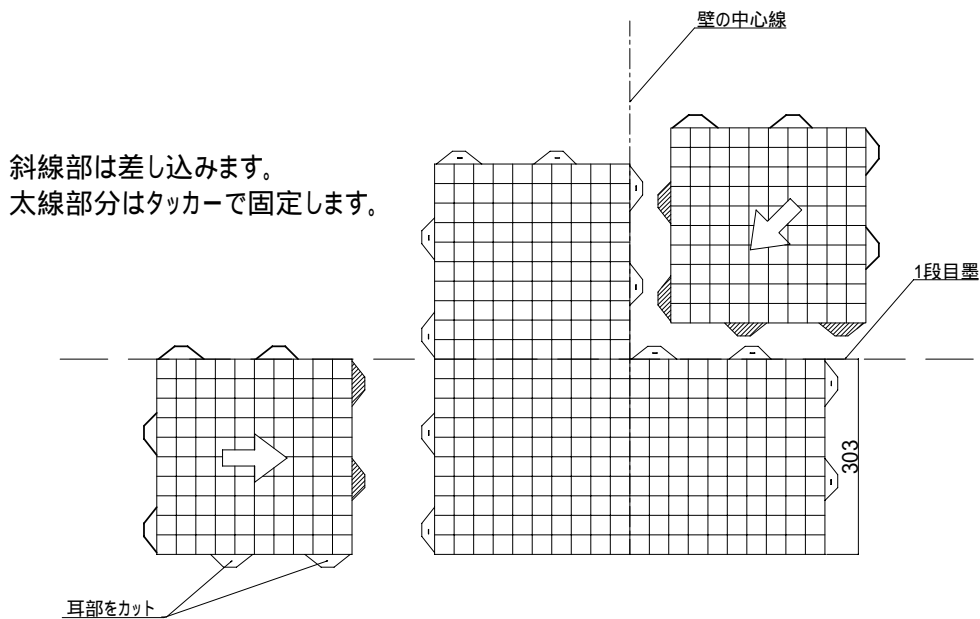
△注意

- 接着剤が皮膚に触れると肌荒れの原因となる場合があります。
- 接着剤が目に入った場合は、水でよく洗い流し異常のあるときは医師の診断を受けて下さい。

パッチンカラットプレシャスマosaicカッセの取り付け

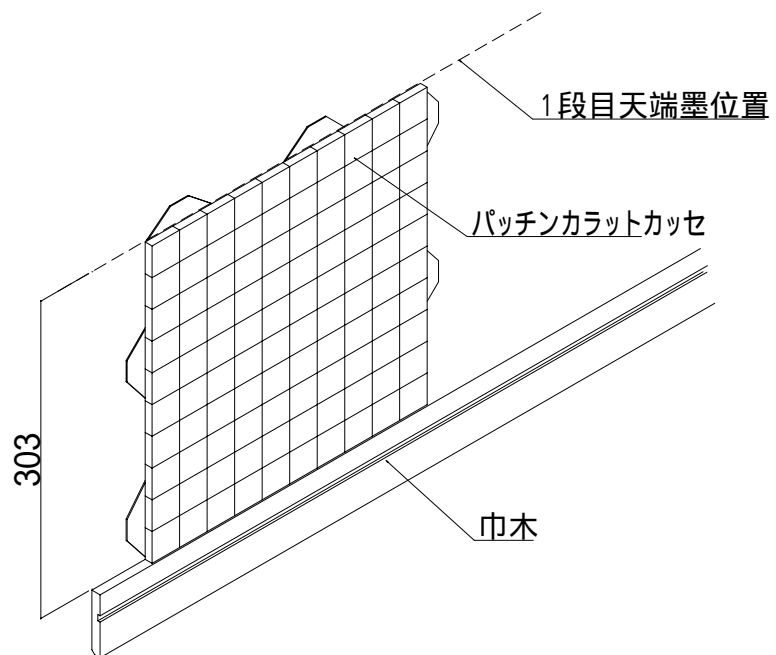
接着剤を塗布した後、水平墨にあわせて1段目を施工します。巾木側の耳はカットして下さい。2枚目以降は耳部を差し込みながら施工して下さい。

接着剤が壁面になじむように十分押し込んで下さい。



床取り合い部の納まり

プレシャスマosaicカッセの厚さが6.0mm~8.0mmですので厚さ9mm以上の巾木を使用して下さい。巾木は水平に取り付けて下さい。

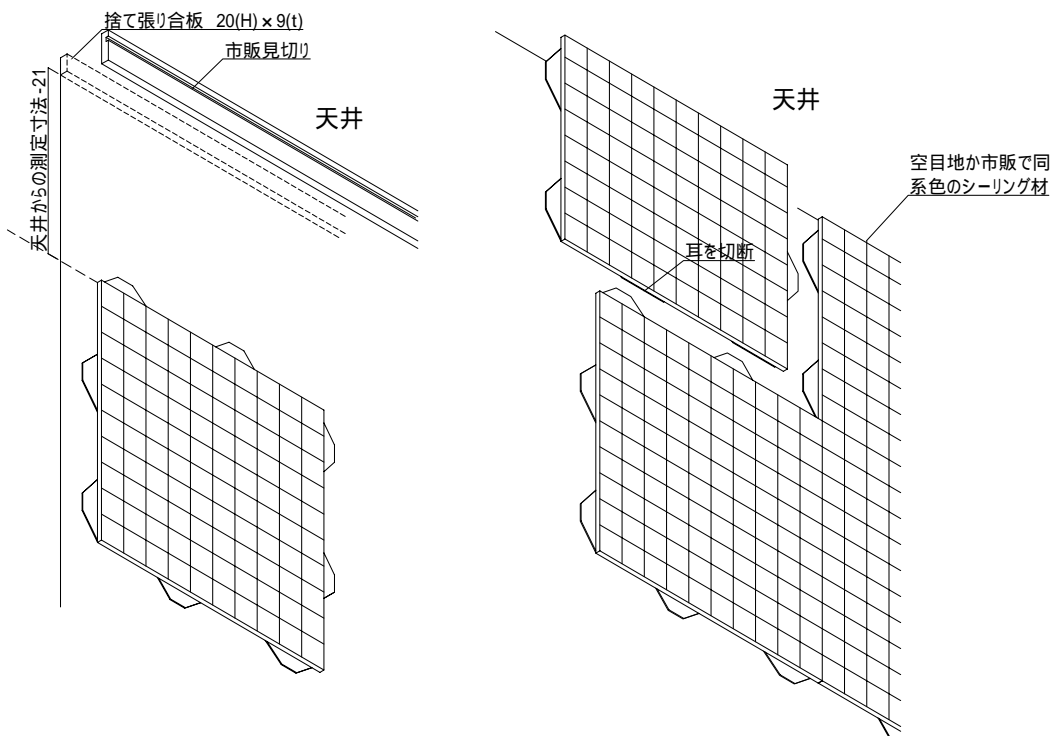


天井取り合い部の納まり

天井取り合い部は市販の見切りまたは空目地または市販で同系色のシーリングで納めてください。

市販見切りを使用する場合は天井から 21mm あけてパッチンカラットカッセルを施工した後 9mm 厚で 20mm 幅の合板を捨て張りした後、市販の見切りを取り付けます。

空目地または市販で同系色（天井と同系色のものを使っても結構です）のシーリング材で納める場合耳部がスライドできないので下側の耳をカットして施工して下さい。

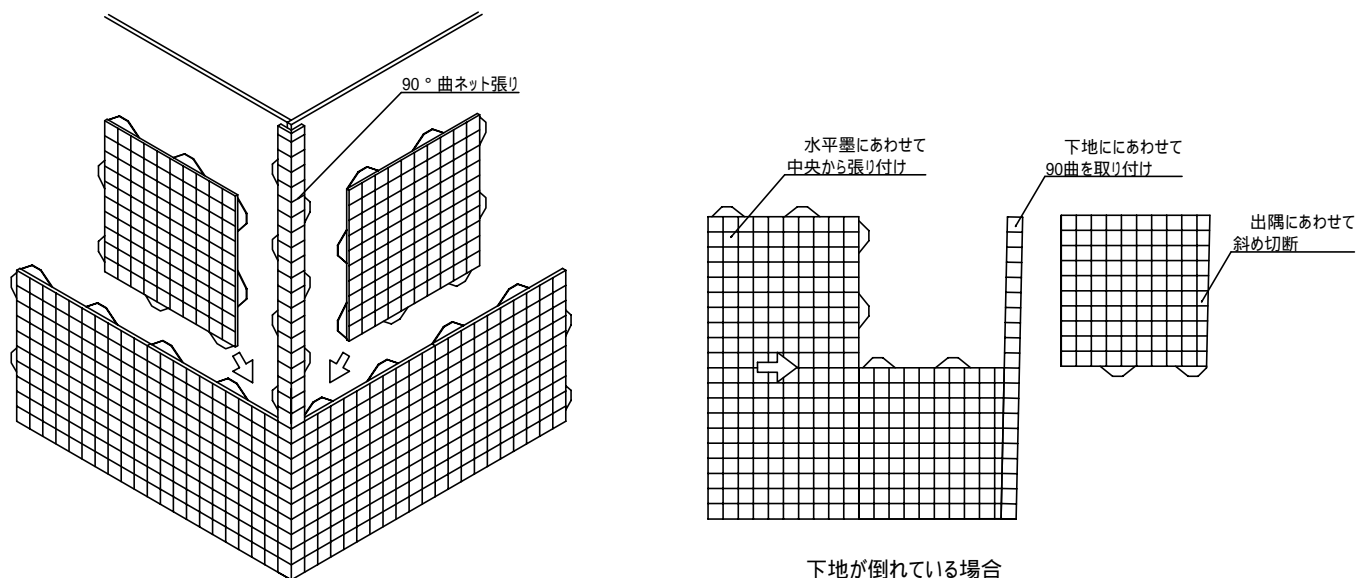


出隅部の納まり

出隅には 90° 曲ネット張りを使用して下さい。90° 曲ネット張りは先に取り付けて下さい。

壁が倒れている場合には平パネルと出隅の間に隙間ができることがあります。

平パネルは心割りして出隅との取り合い部はカットして納めて下さい。



入隅の納まり

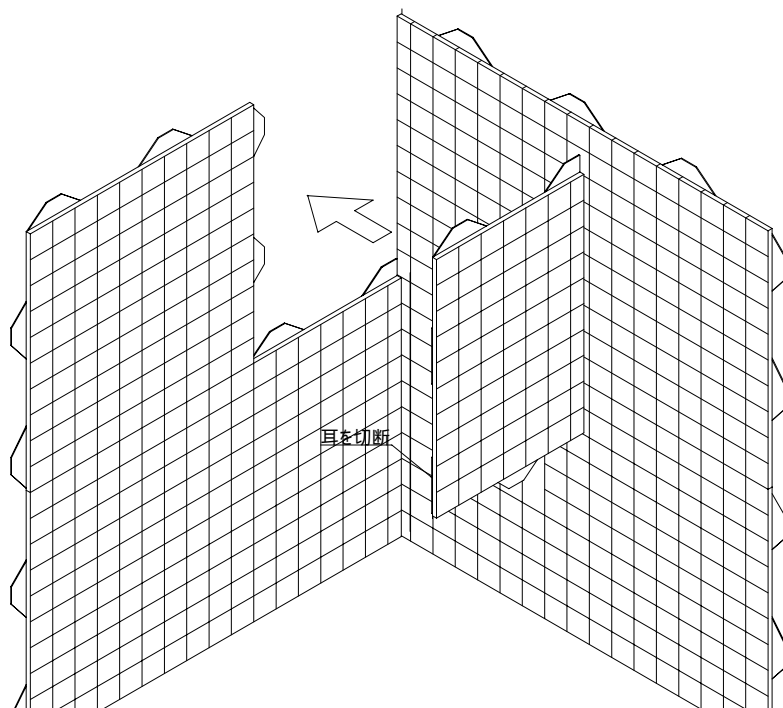
入隅は2mm程度隙間をあけてカラットコークで納めます。入隅のパッチンカラットはスライド差し込みができなくなりますので横の耳をカットして取り付けて下さい。

コーキングするには必ずマスキングテープで養生して下さい。

養生テープ等の粘着力の高いテープを使用

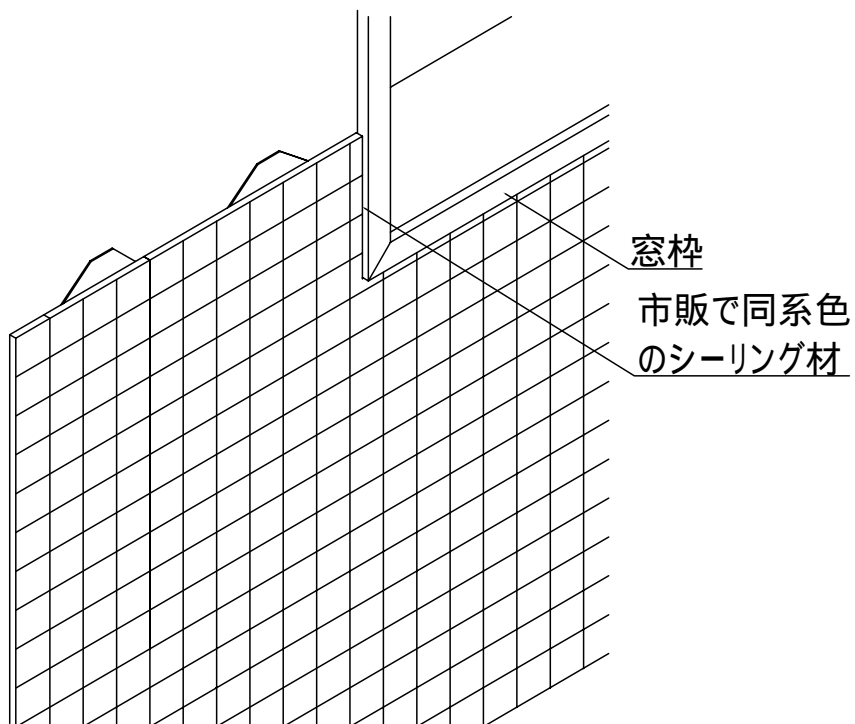
しますとエコカラットの表面が剥がれ

ることがあります。



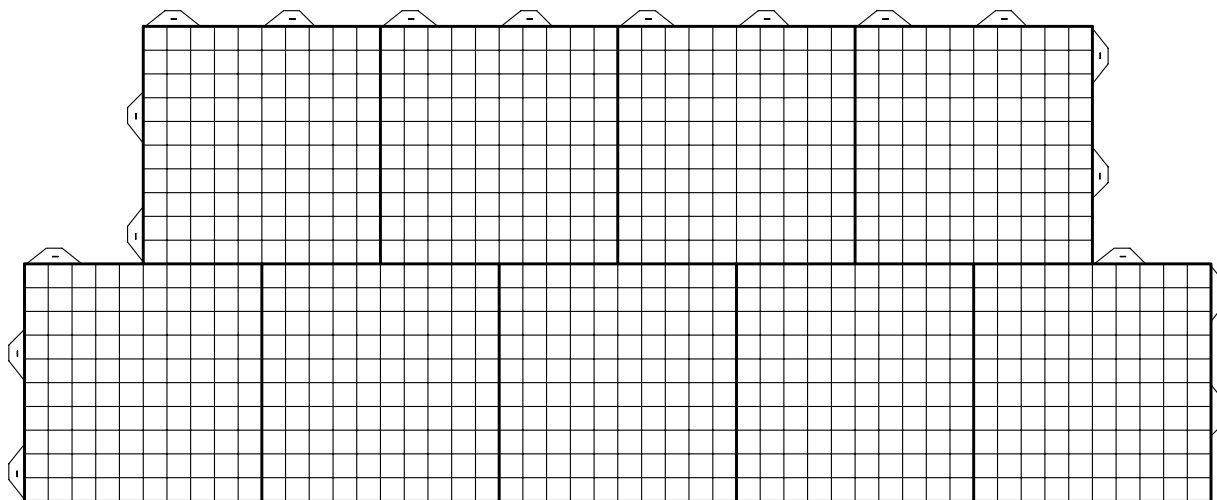
開口廻りの納まり

窓枠との取り合いは2mm程度あけて市販で同系色のシーリング材（窓枠と同系色のものを使っても結構です）で納めて下さい。



大面積での施工方法

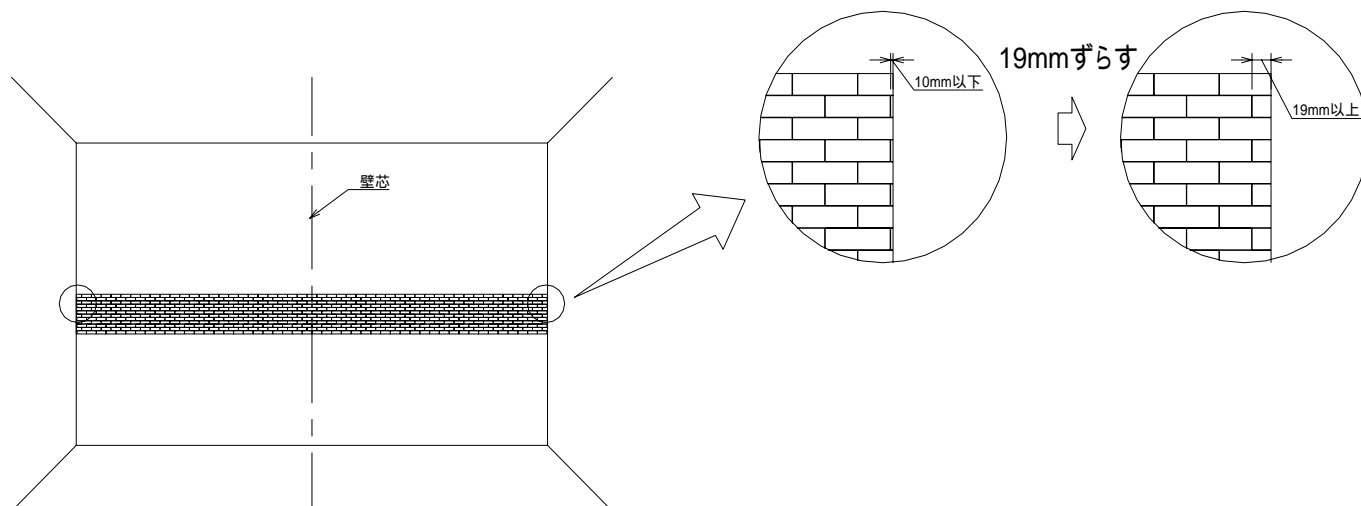
パッチンカラットカッセを大きな面で使用するにはパネルを半分ずらして施工するとパネルジョイントがわかりにくくなります。



割り付け

左右方向の割り付け

入隅 - 入隅間の壁面は左右均等割り付け（芯割り）とします。その際、両端の入り隅取り合いのタイル寸法が10mm以下となる場合には中心を19mm（タイル幅の1/4）ずらして下さい。



片追いの場合、下地の建ちがでていないと上部で開いて納まらなくなることがあります。必ず心割りとして下さい。

出隅に出隅コーナーを使用する場合には、出隅から片追いして入り隅で切断して下さい。

上下方向の割り付け

巾木からの積み上げ施工とします。天井との取り合いは空目地が市販で同色系のシーリング材で処理するか市販の見切りを使用して納めて下さい。

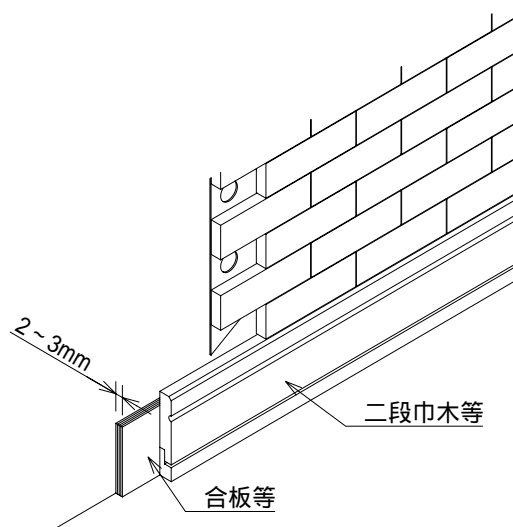
巾木の取り付け

巾木を水平に取り付けます。巾木は厚みが10mm以上のものを使用するか、または、薄い巾木を用いる場合は2~3mm程度の合板を増し打ちしてから取り付けてください。（ただし、面の途中で張り終わり、残りの部分を壁紙で納める場合は、合板等の増し打ちはできません。エコカラットが出るような納まりになります。）

タイルの厚みに8mm~10mmのバラツキを持たせています。タイルの上に巾木がかぶさるような納まりにはしないでください。巾木とタイルの間に隙間ができ、見栄えが悪くなります。

巾木の水平がでていないと、巾木との間に隙間が空くところができます。必ず水平に取り付けて下さい。

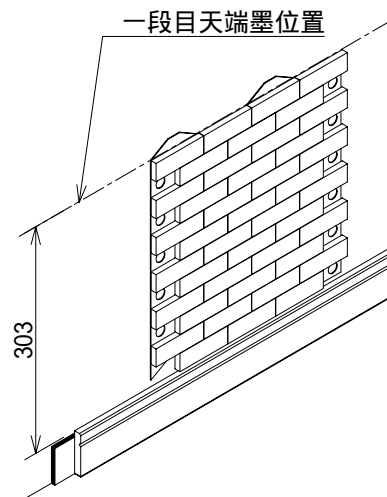
リフォームで床が波打っている場合にはクッション巾木や二段巾木を使用して巾木の上端が水平になるようにして下さい。



1 段目天端の墨出し

巾木天端から 303mm の位置に水平墨を打ちます。

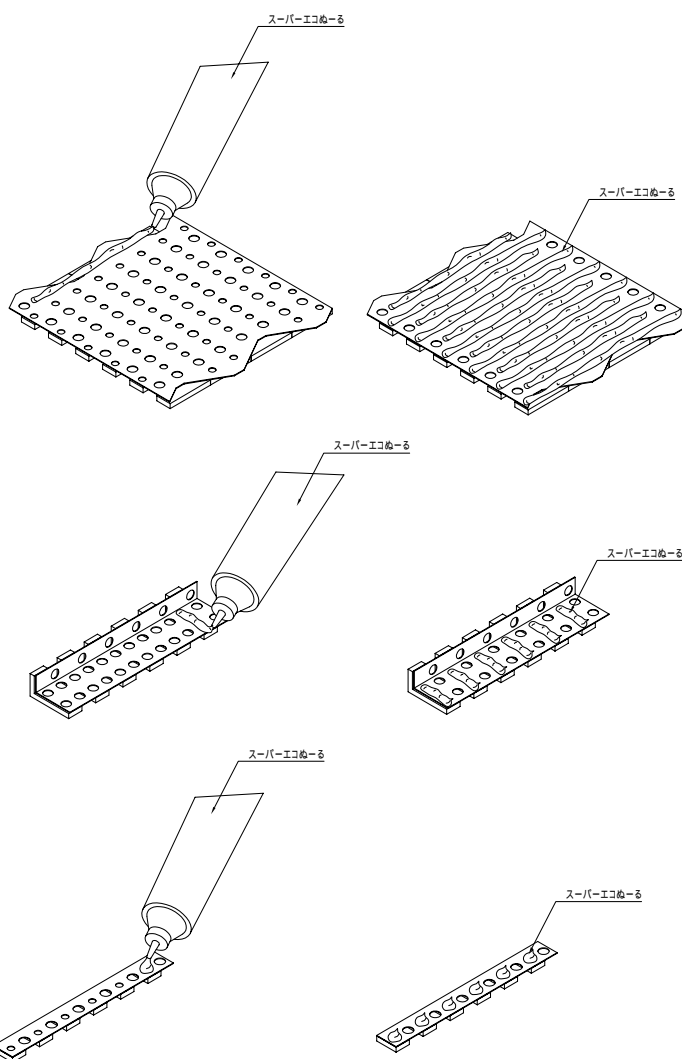
巾木が水平に取り付けてある場合は巾木を基準として乗せて施工することができます。



接着剤の塗布

裏側の接着剤塗りつけ穴に接着剤スーパーエコぬゝを塗布します。接着剤は穴がかくれるくらいの量を塗布してください。タイルが張り付けてある部分の穴には全て塗布してください。ビードで塗りつけると効率よく作業できます。

接着剤の使用量はビード塗布の場合 0.5 m²/本、点付けの場合 0.9 m²/本となります。



△注意

- ・ 接着剤が皮膚に触れると肌荒れの原因となる場合があります。
- ・ 接着剤が目に入った場合は、水でよく洗い流し異常のあるときは医師の診断を受けて下さい。

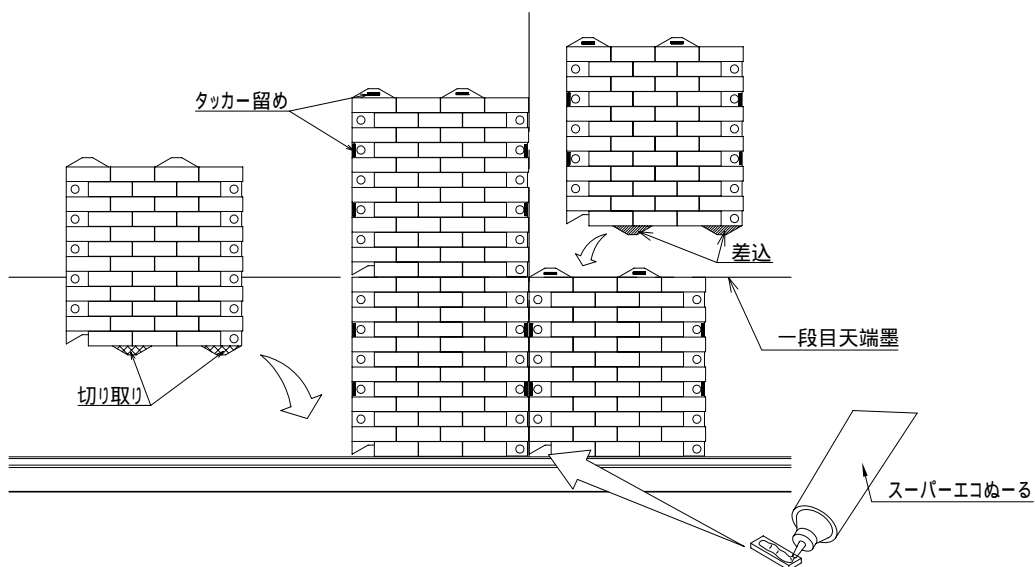
取り付け

接着剤を塗布した後、水平墨にあわせて1段目を施工します。巾木側の耳はカットして下さい。2枚目以降は耳部を差し込みながら施工して下さい。

接着剤が壁面になじむように十分押し込んで下さい。タイルに厚みのバラツキを持たせていますので一枚一枚十分に押さえてください。

タッカーは1シートあたり6点留めてください。

シートジョイント部のタイルは、同梱のバラタイルを、裏面に接着剤を塗布して一枚一枚張り付けてください。



出隅部を含む面の場合

出隅部を含む面は1段毎仕上げていきます。

90°曲ネット張りを1段接着剤で張り付けます。
先に90°曲ネット張りをタッカー留めしてしまうと、
平物と高さが合わない場合があります。

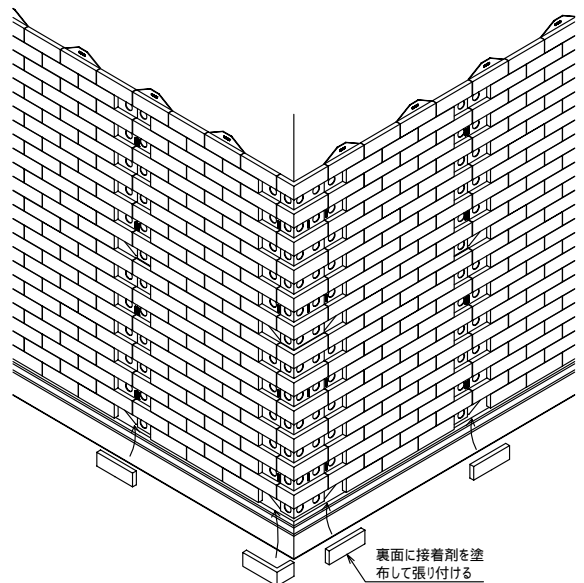
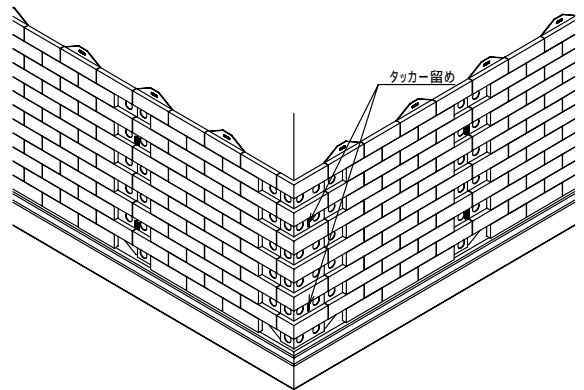
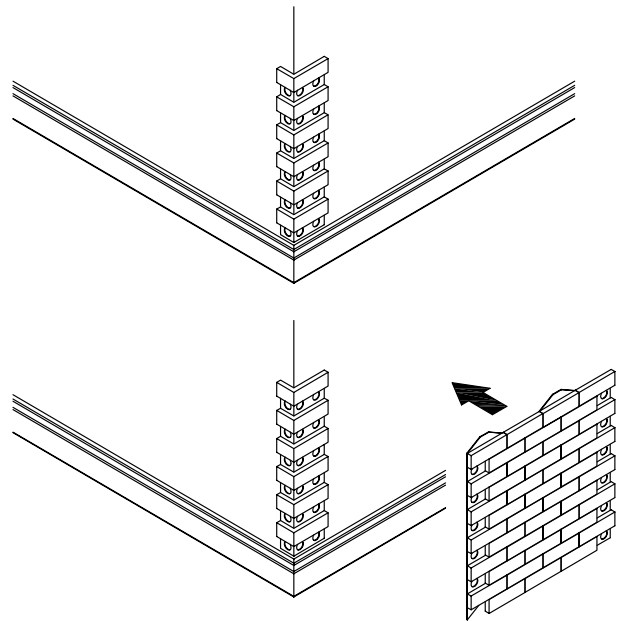
同じ段の平物を張り付けます。

平物に合わせて90°曲ネット張りの位置調整を行い、
タッカー留めします。

- ・90°曲ネット張りのタッカーは2点留めしてください。

バラタイルを張り付けます。

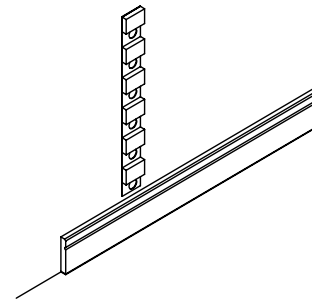
- ・シートジョイント部のタイルは、同梱のバラタイルを、
裏面に接着剤を塗布して一枚一枚張り付けてください。



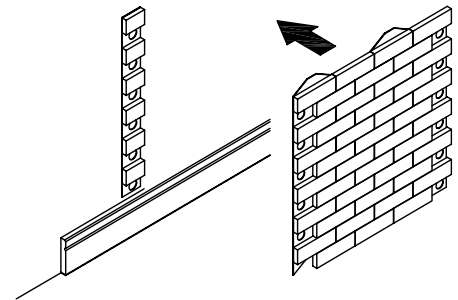
壁面の途中で張り終わる（始まる）場合

壁面の途中で張り終わる（始まる）場合、見切り材を用いる方法のほか、「25×75mm 角（短辺）ネット張り」を用いて納める方法もあります。

25×75mm 角（短辺）ネット張りを1段接着剤で張り付けます。
先に25×75mm 角（短辺）ネット張りをタッカー留めしてしまうと、平物と高さが合わない場合があります。

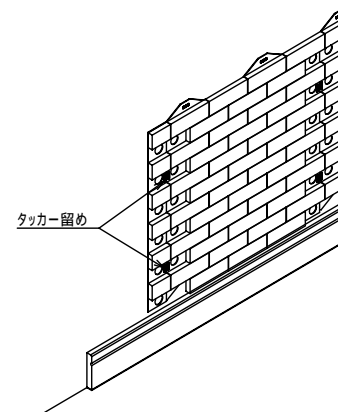


同じ段の平物を張り付けます。



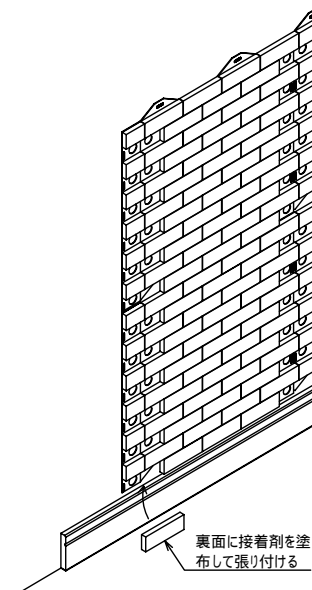
平物に合わせて25×75mm 角（短辺）ネット張りの位置調整を行い、タッカー留めします。

- 25×75mm 角（短辺）ネット張りのタッカーは2点留めしてください。



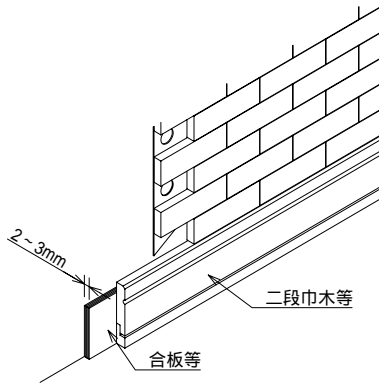
バラタイルを張り付けます。

- シートジョイント部のタイルは、同梱のバラタイルを、裏面に接着剤を塗布して一枚一枚張り付けてください。

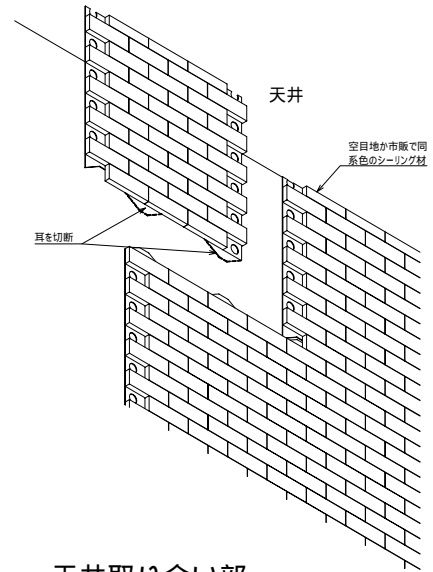
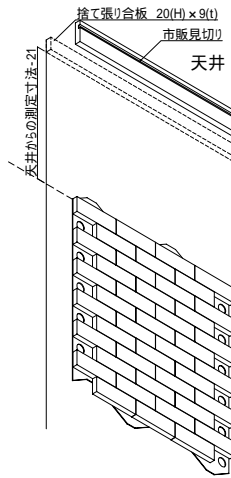


各部の納まり

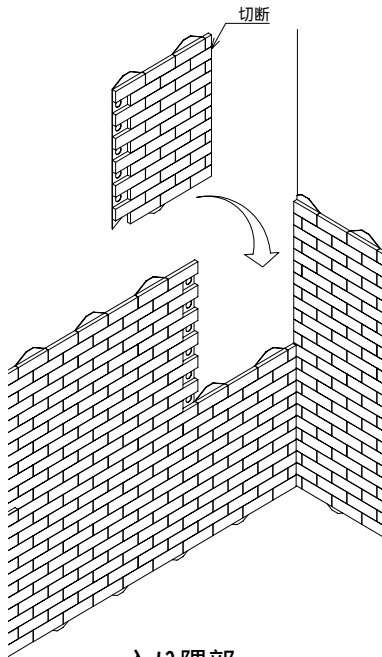
プレシャスモザイクカッセと同様の納まりとしてください。



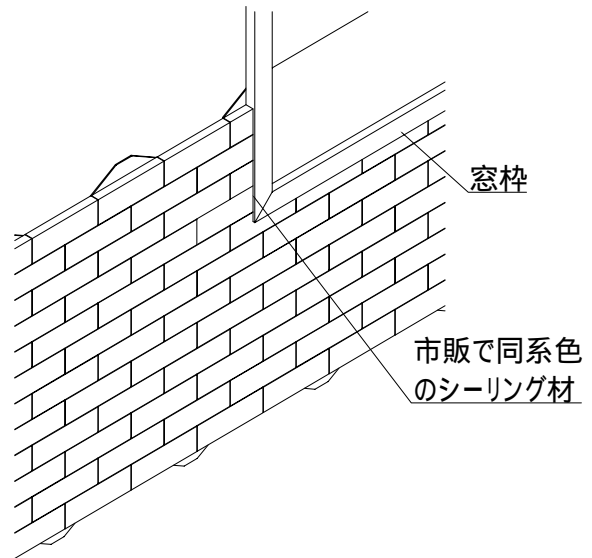
床取り合い部



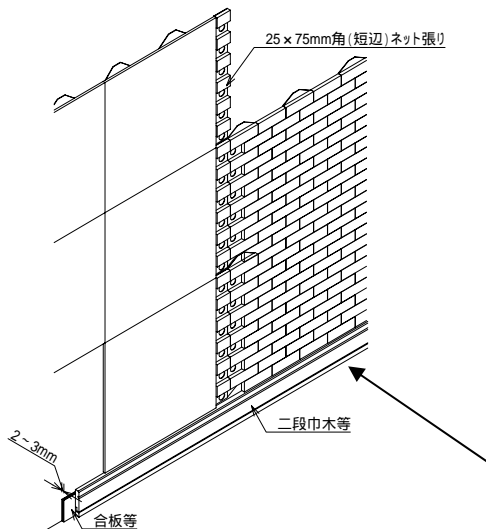
天井取り合い部



入り隅部



開口廻り



300角平との取り合い部

のみ込み式の巾木は用いないでください。また、合板等の増し打ちをする場合は4mmまでとしないと、303角平からとび出し見栄えが悪くなります。

パッチンカラットブリック編

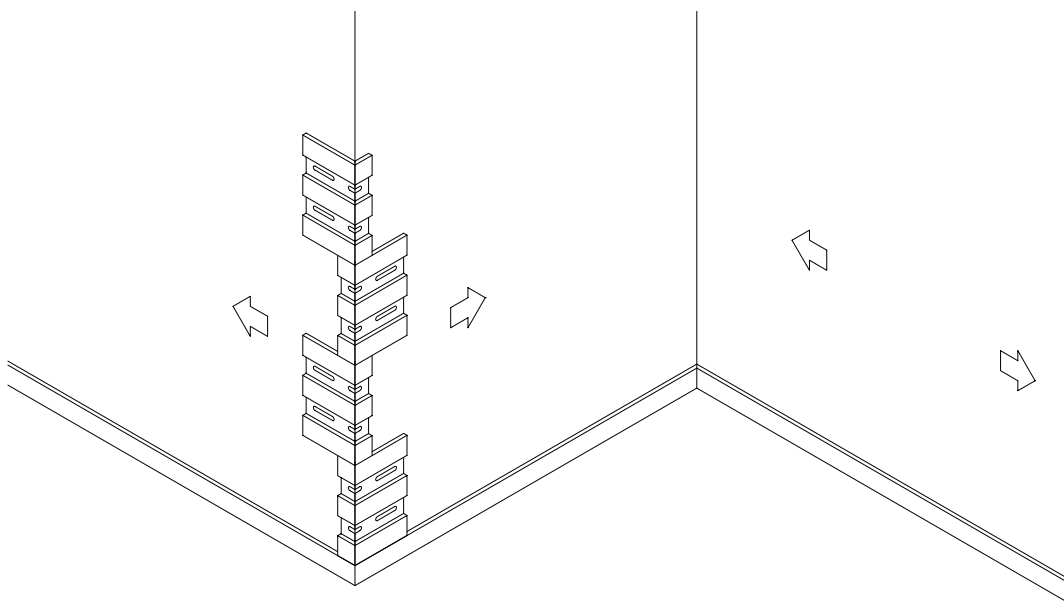
割り付け

左右方向の割り付け

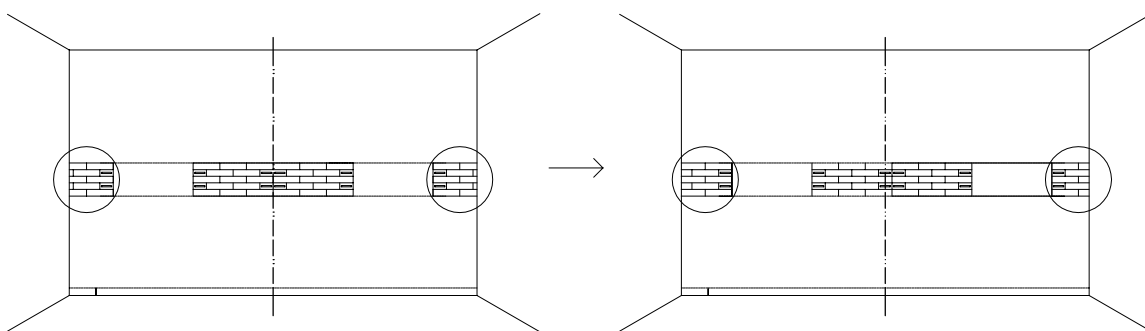
出隅がある場合には出隅からの施工となるため割り付けはできません。

出隅に (151×50) × 50 角曲りシート張りを使用してから入隅で切断します。

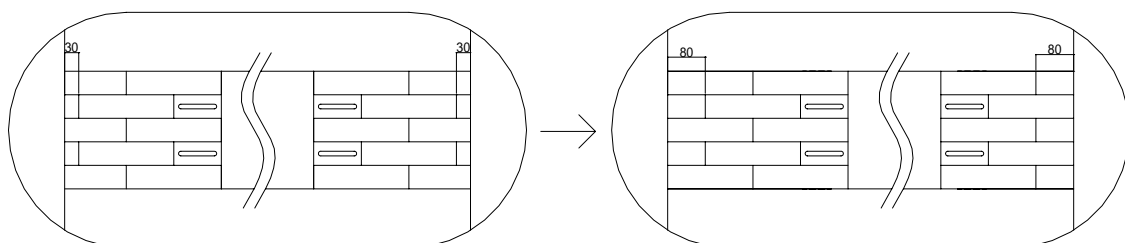
この場合、入隅に小さな切りものが入る場合もあります。



入隅-入隅の場合は心割りとしします。中心から左右に割り付け入隅取り合いのタイル寸法が 30mm 以下となる場合にはセンターを 50mm ずらして下さい。



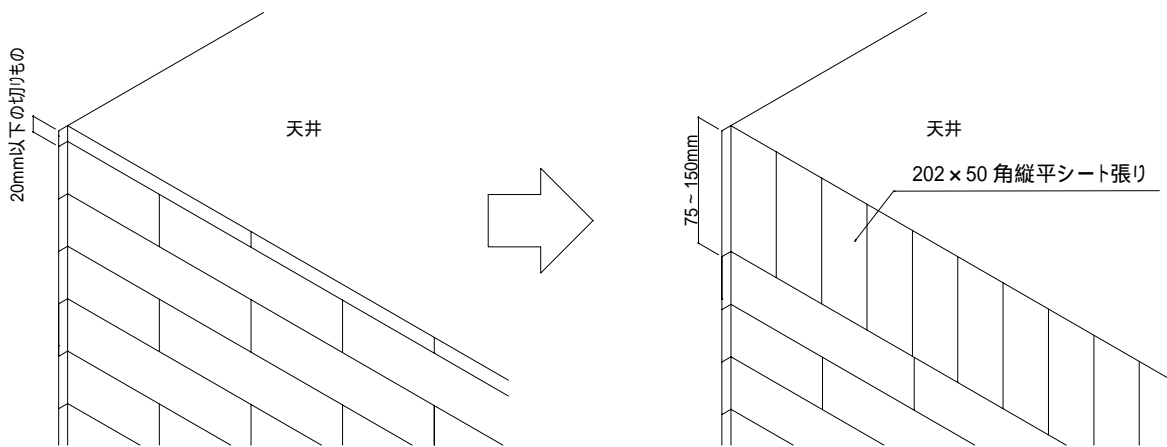
入隅取り合いのタイル寸法が30mm以下となる場合には50mmずらします。



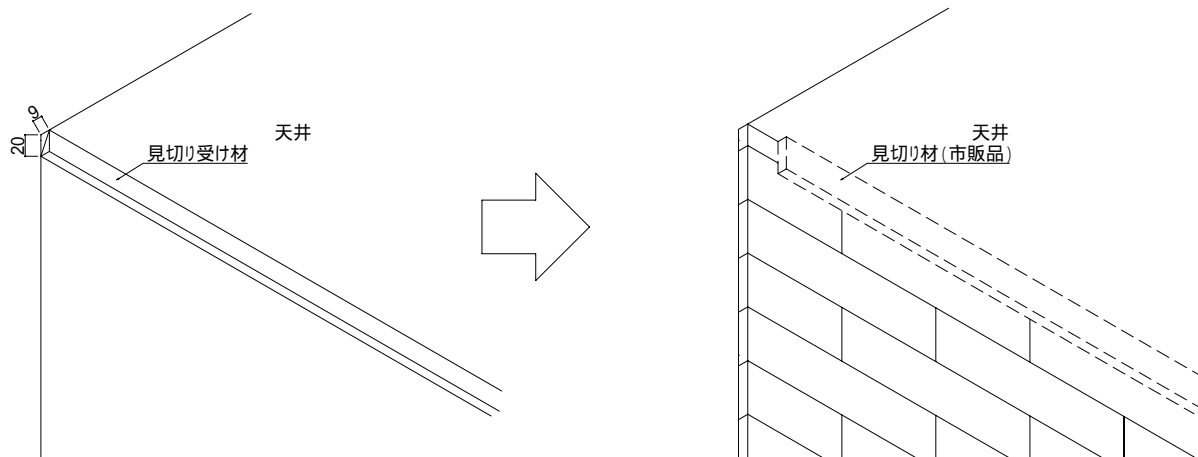
50mmずらす

上下方向の割り付け

巾木からの積み上げ施工とします。天井との取り合いで 20mm 以下の切りものが入る場合には 202×50 角縦平シート張りを使用するときれいに納まります。

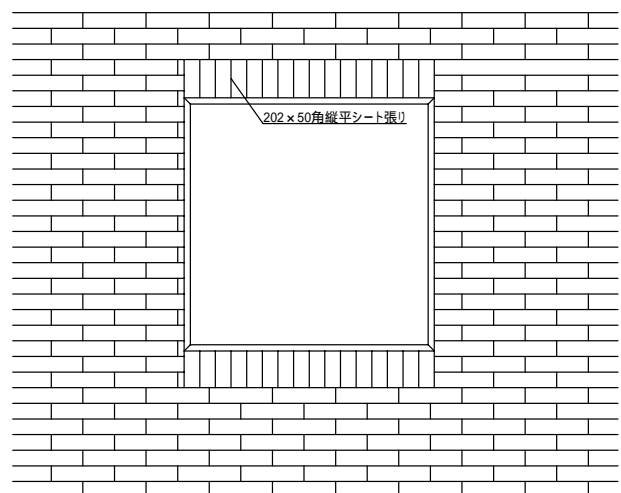


天井との取り合い部分に見切りを使用する場合には 20×9mm の受け材を天井に合わせて張り付けておきます。

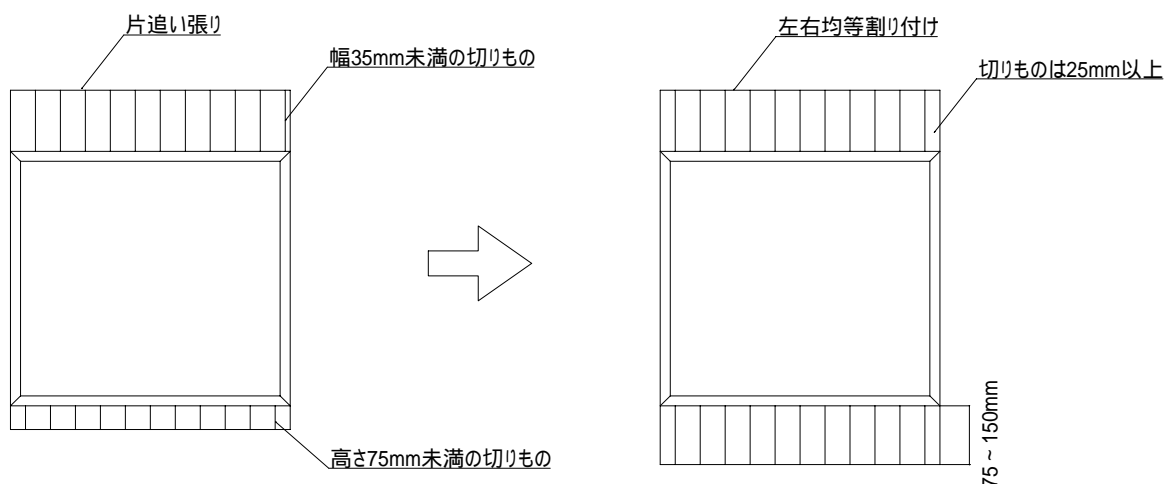


開口上下取り合いの割り付け

開口上下取り合いは 202×50 角縦平シート張りを使用します。



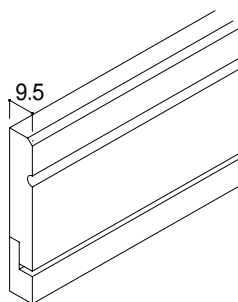
片追いで割り付けた際に切りもの寸法が 35mm 以下となる場合には心割りとして下さい。
 タイルの高さは 75 ~ 150mm となるように割り付けます。



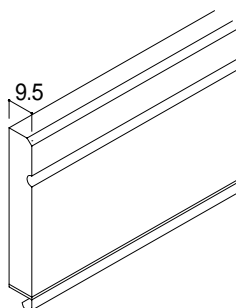
巾木の取り付け

巾木を水平に取り付けます。ブリックの厚さが 9.0 ~ 10.5mm ですので巾木は厚さが 9mm 以上のものを使用して下さい。

巾木の水平がでていないと巾木との間に隙間が空いたり入らない箇所がでます。必ず水平に取り付けて下さい。リフォームで床が波打っている場合にはクッション巾木や二段巾木を使用して巾木の上端が水平になるようにして下さい。



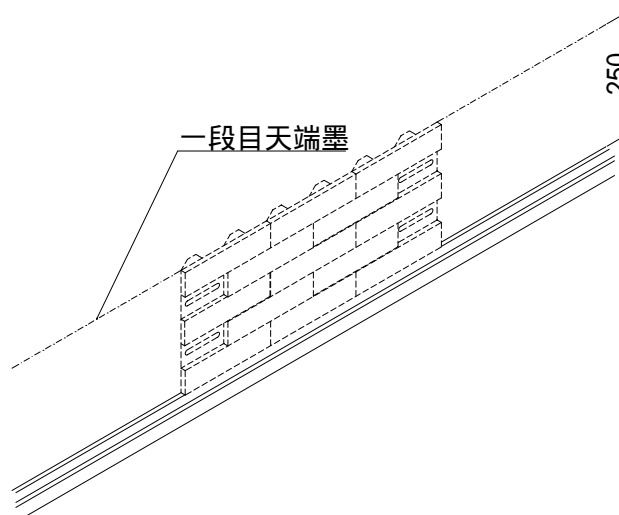
二段巾木



クッション巾木

1 段目天端の墨出し

巾木の天端から 250mm の位置に水平墨を打ちます。

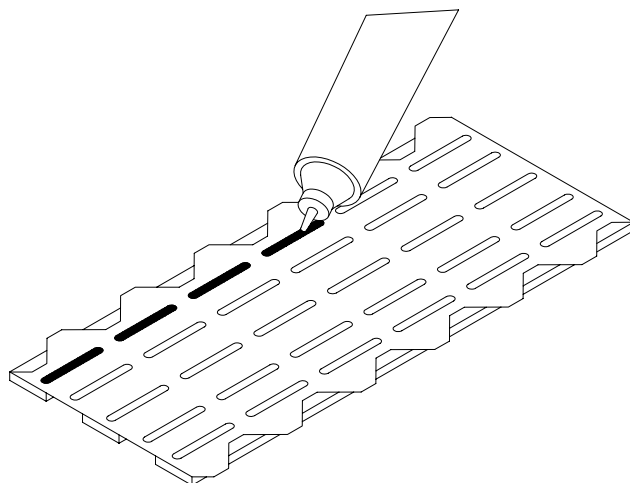


接着剤の塗布

裏側の接着剤塗りつけ穴に接着剤スーパーエコぬーるを塗布します。接着剤は穴がかくれるくらいの量を塗布してください。

エコカラットが張ってない孔には塗布しないで下さい。

接着剤の使用量は $0.83\text{kg}/\text{m}^2$ 程度です。

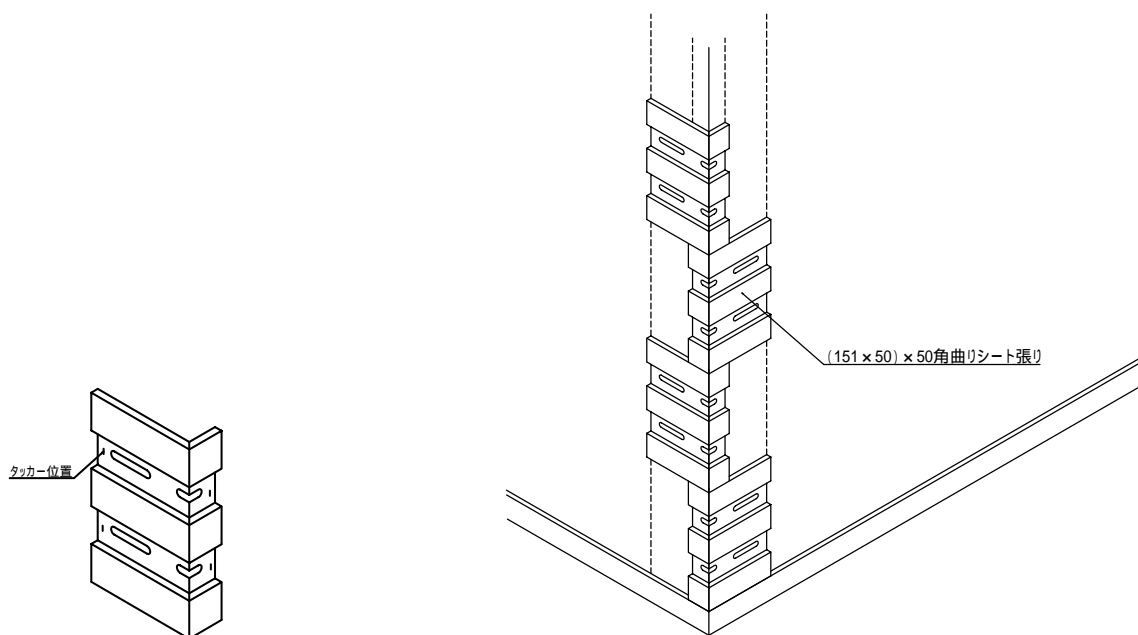


出隅の取り付け

出隅に $(151 \times 50) \times 50$ 角曲りシート張りを取り付けます。

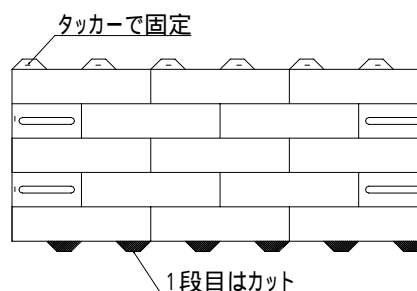
$\times (151 \times 50) \times 50$ 角曲りシート張りは交互に取り付けてください。

1枚あたり4カ所、紙部分をタッカーで固定してください。



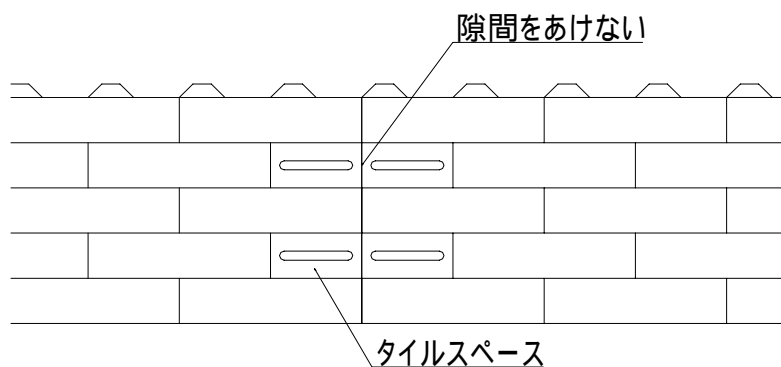
202 x 50 角シート張りの取り付け

割り付けに合わせて1段目のシートを取り付けます。上側の耳部およびタイルスペース部分をタッカーで固定して下さい。1段目の下側の耳はカッターナイフでカットして下さい。



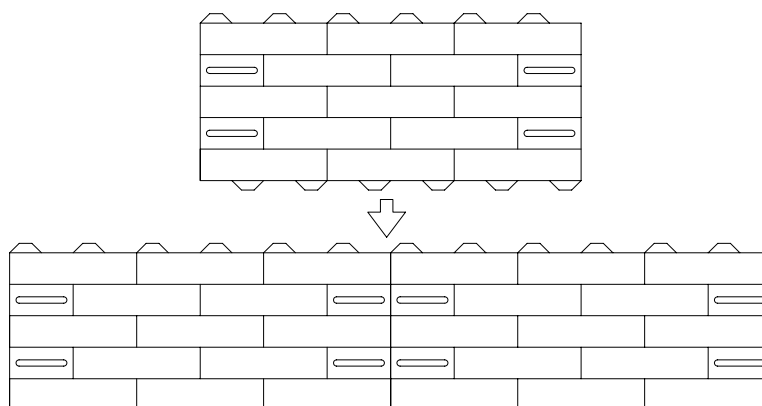
左右の取り合いはタイルスペース部分に隙間をあけないように取り付けます。

タッカーは壁面に対して斜めに打ち込んで下さい。

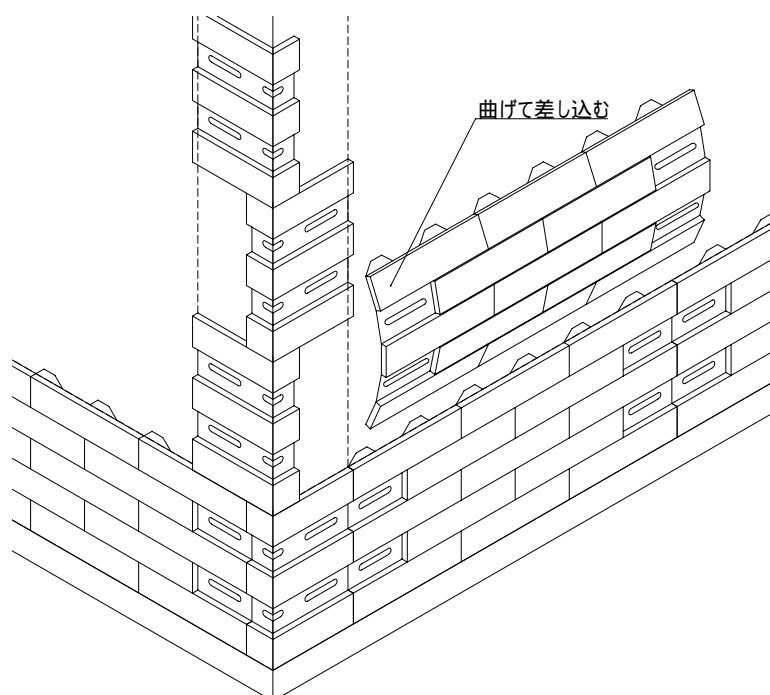


2段目以降は下側の耳を差し込みながら施工して下さい。

パネルを通し張りするとタイルの目地が部分的に通し目地となってしまいます。必ずタイルの目地がずれるように施工して下さい。



(151×50)×50 角曲りシート張りとの取り合い部分は 202×50 角シート張りを曲げて差し込んで下さい。

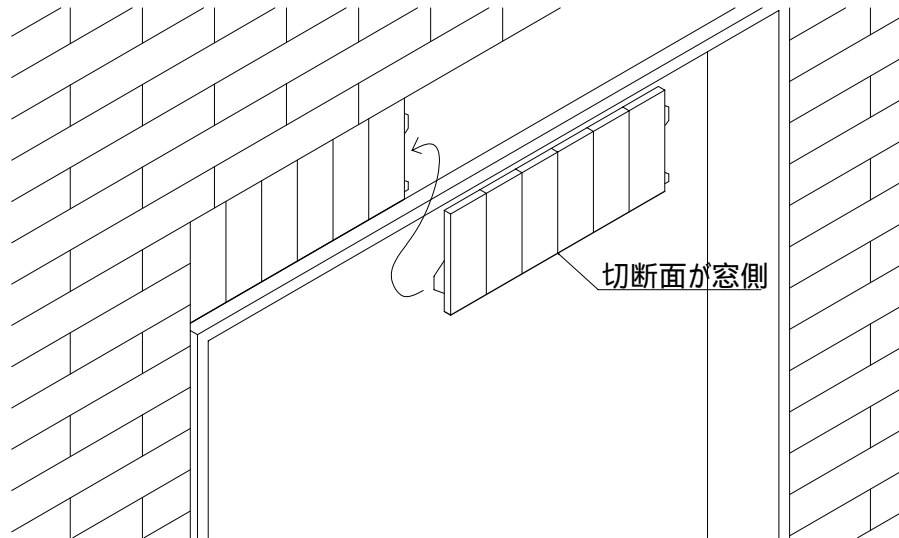


縦平の取り付け

開口の上下は 202×50 角縦平シート張りを使用して納めます。

202×50 角縦平シート張りが 75～150mm となる位置まで 202×50 角シート張りを張り付けます。

割り付けに合わせて 202×50 角縦平シート張りを固定します。切断面が窓側になるように取り付けます。

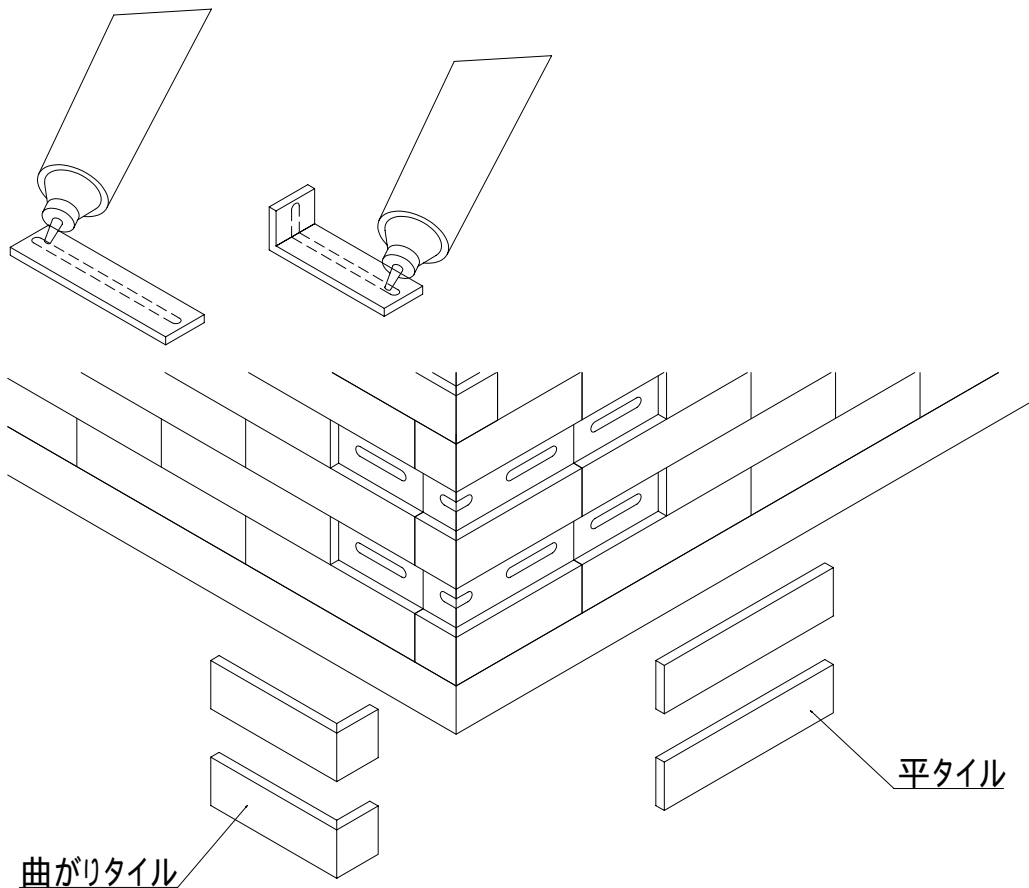


タイル張り

202×50 角シート張り、(151×50)×50 角曲りシート張りの空きスペースにタイルを貼り付けます。

タイル裏面に接着剤を塗布してスペースにはめ込んで下さい。(点線は入っていません)

壁面に塗ると接着剤がはじけて壁面に接着剤がつくことがあります。必ずタイル側に塗って下さい。



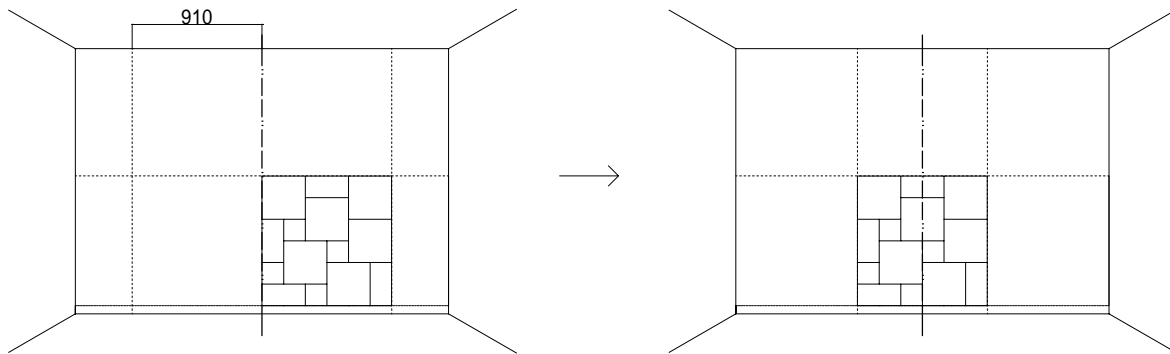
パッチンカラットストーン編

割り付け

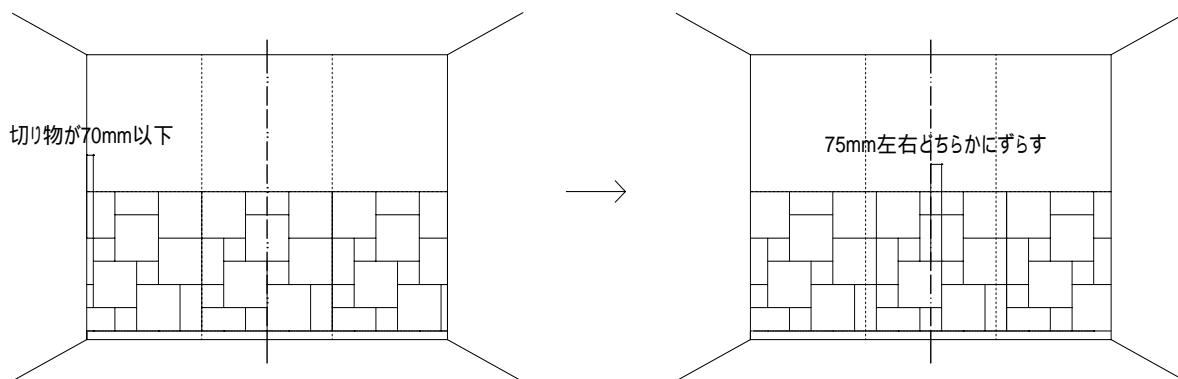
施工する壁面の幅を測定しエコカラットストーンを割り付けます。

左右均等割り付けを基準とします。

異形状セットは 909mm 角が1つのユニットとなっています。909mm ができるだけ大きく入る様に割り付けて下さい。次に入隅取り合い部の寸法を確認し 70mm 以下の場合には左右どちらかに 75mm ずらして下さい。

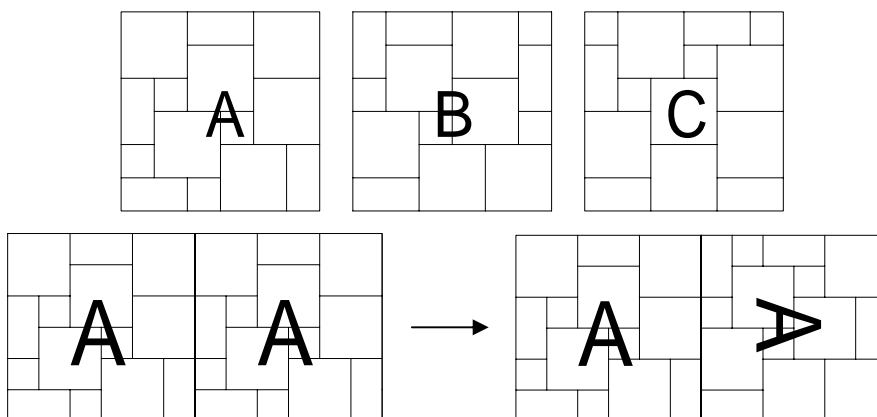


910のパターンができるだけ大きくなるように割り付けます。



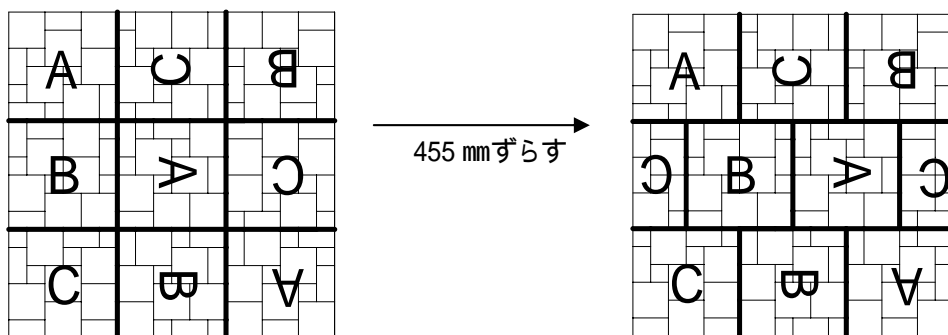
取り合い部のタイル寸法が70mm以下の場合には中心から左右どちらかに75mmずらして下さい。

異形状セットの場合は A、B、C の3パターンを組み合わせながら張り合わせてください。さらに回転させることにより、バラツキ感がでてよりよく仕上がります。



909 角のセットですので、909 ピッチでグリッドがでます。

大面積に施工する場合は、水平方向に 455 mm ずらして施工するとグリッドが目立ちにくくなります。

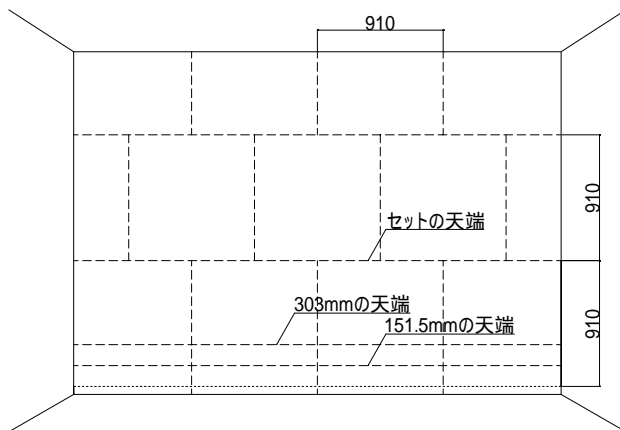
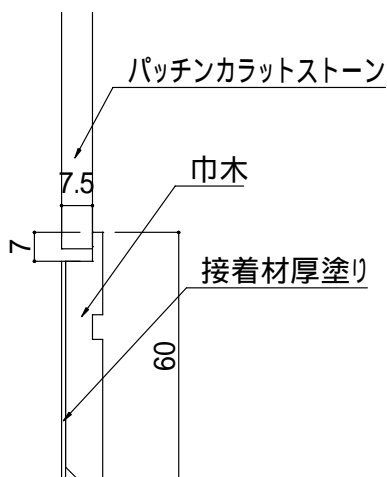
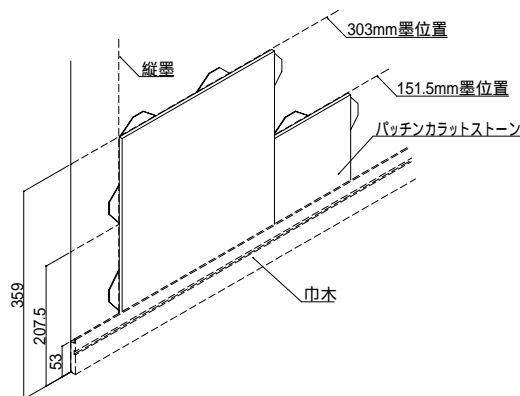


墨出し

ストーンには 303mm と 151.5mm の 2 種類の高さがあります。

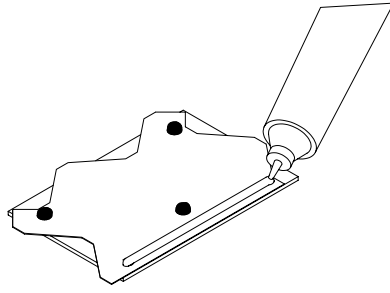
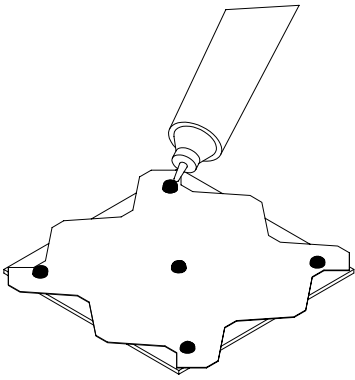
巾木の取り合い部分から 151.5mm、303mm の位置に 1 段目を水平に固定するための墨を出して下さい。巾木は後施工することをおすすめします。

大面積に施工する場合には 910mm 間隔に墨出しをして調整して下さい。



接着剤の塗布

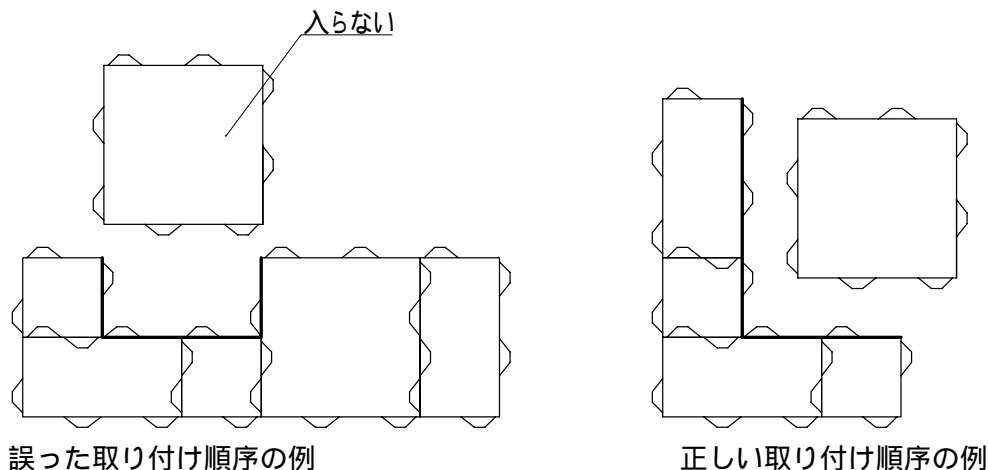
裏側の丸穴部分に接着剤スーパーエコぬーるを塗布します。接着剤は穴がかくれるくらいの量として下さい。開口廻り等、切断した場合には切断位置にビード状に接着剤を塗布して下さい。接着剤の使用量は 1 本あたり 8 m²程度が目安です。



パッチンカラットストーンの取り付け

留め付け方法は 303 角平 345 角平 455 角平編をご参照下さい。

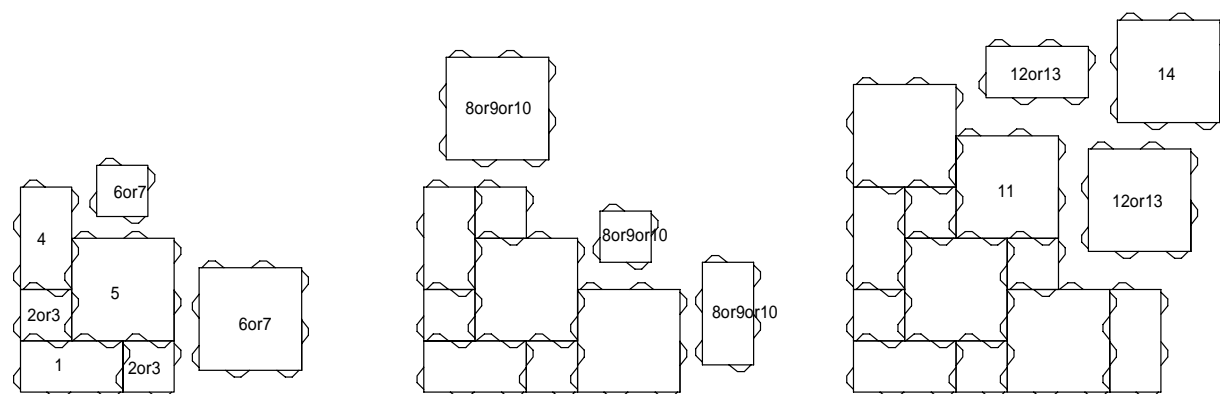
異形状セットは 3 形状の組み合わせになります。取り付け順序によっては差し込むことができなくなります。凹になるのを避け L 字が残るように取り付けして下さい。



誤った取り付け順序の例

正しい取り付け順序の例

A パターンの取り付け順序



床取り合い部の納まり

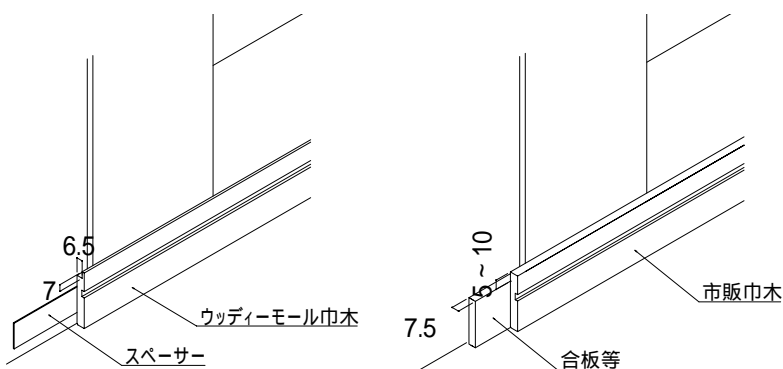
床との取り合いには飲み込みタイプのウッディモール巾木を使用して納めます。

ウッディモール巾木の飲み込み代が 6.5mm のため接着剤を厚塗りするか 1mm 程度のスペーサーを挟んで施工して下さい。

巾木を先に取り付けてしまうとエコカラットの差し込みが難しくなります。

巾木は後施工として下さい。

他の壁面で使用する巾木とウッディモールの色合いが合わない場合は 7.5mm 分の捨て張りをすると市販巾木でも納めることができます。



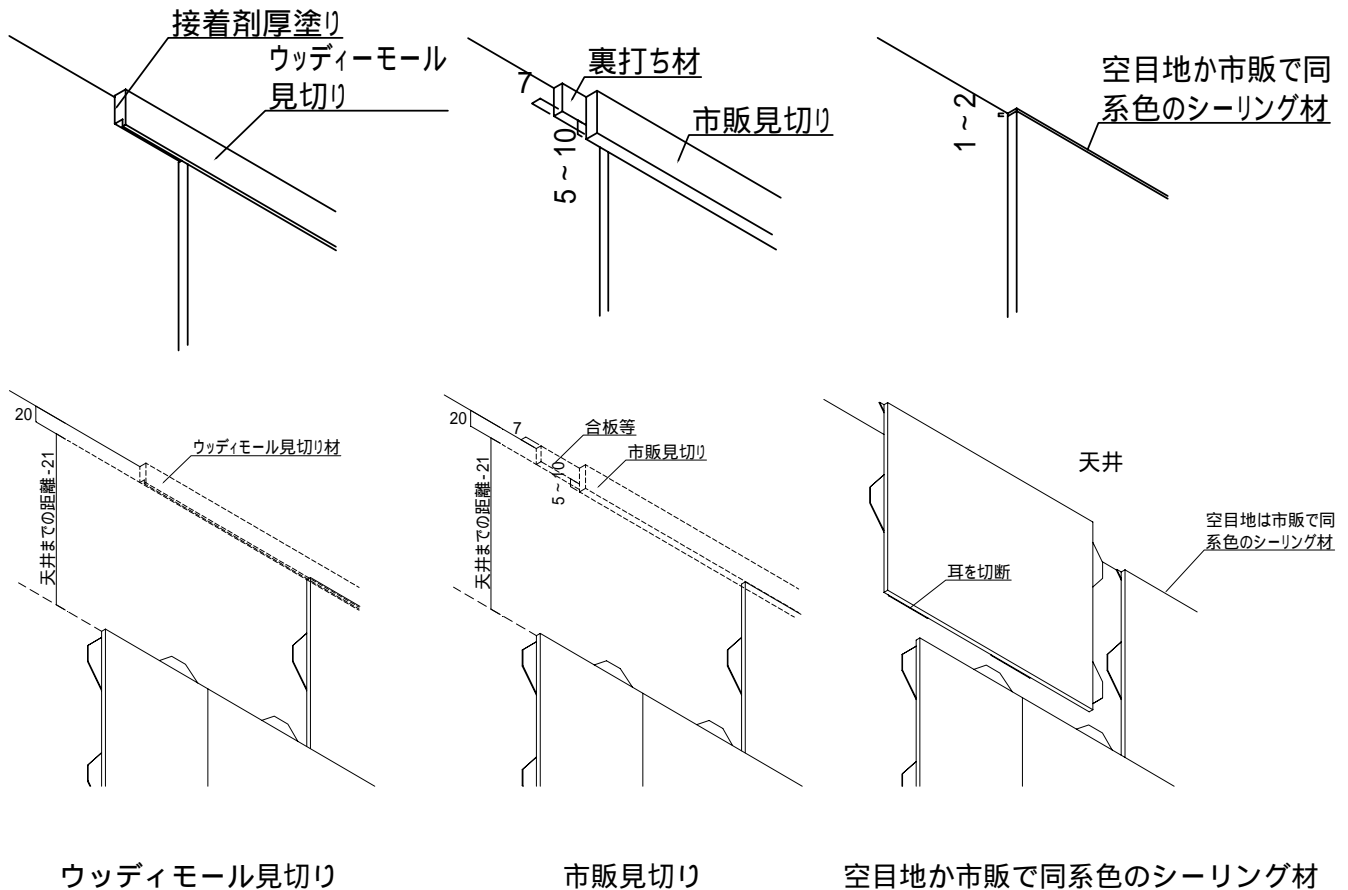
天井取り合い部の納まり

天井との取り合いには飲み込みタイプのウッディモール見切りを使用して納めます。巾木同様に1mm程度のスペーサーを挟んで施工して下さい。見切りも巾木同様にエコカラット取り付け後に取り付けます。エコカラットは天井から21mm控えて取り付けます。

巾木同様に7.5mmの合板を捨て張りすれば市販の見切りでも納めることができます。

見切りを使用しない場合は天井から1~2mmあけて空目地か市販の同色系シーリング材(天井と同系色のものを使って結構です。)で仕上げます。

空目地か市販の同色系シーリング材の場合、最上段のエコカラットの差し込みができなきますので下側の耳をカットして施工して下さい。



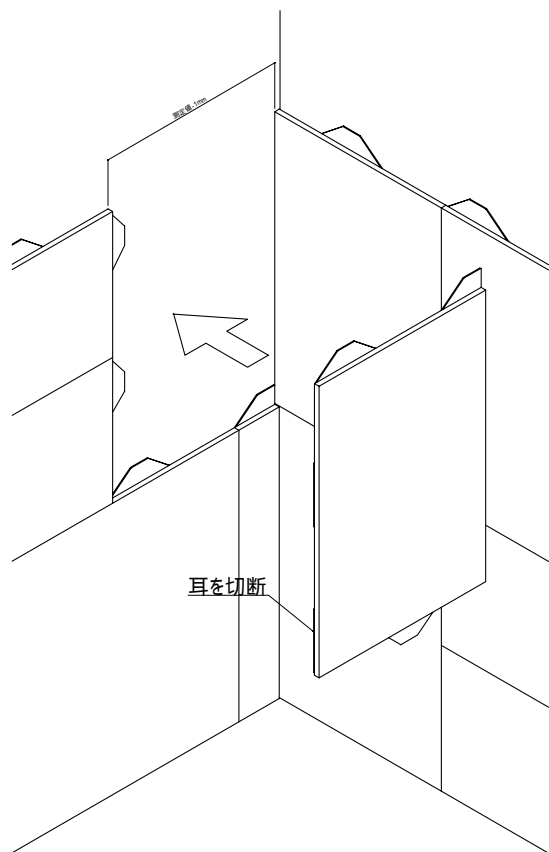
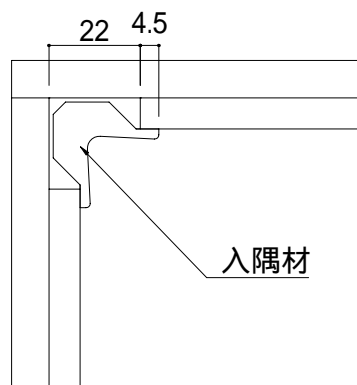
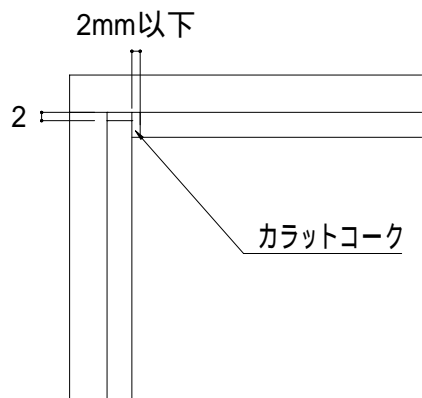
入隅の納まり

入隅はカラットコークまたは入り隅材で納めます。

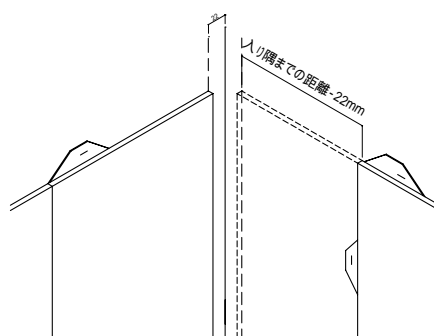
カラットコークで仕上げる場合にはスライド差し込みができなくなりますので横の耳をカットしてエコカラットを取り付けます。

入り隅材はエコカラットを入隅から 22mm 控えた位置まで取り付けた後に取り付けます。

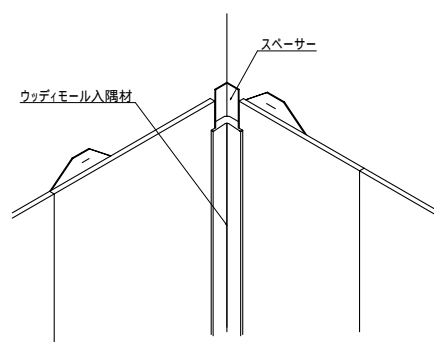
入り隅材は接着剤とフィニッシュネイラで固定します。



カラットコーク



エコカラットの取り付け



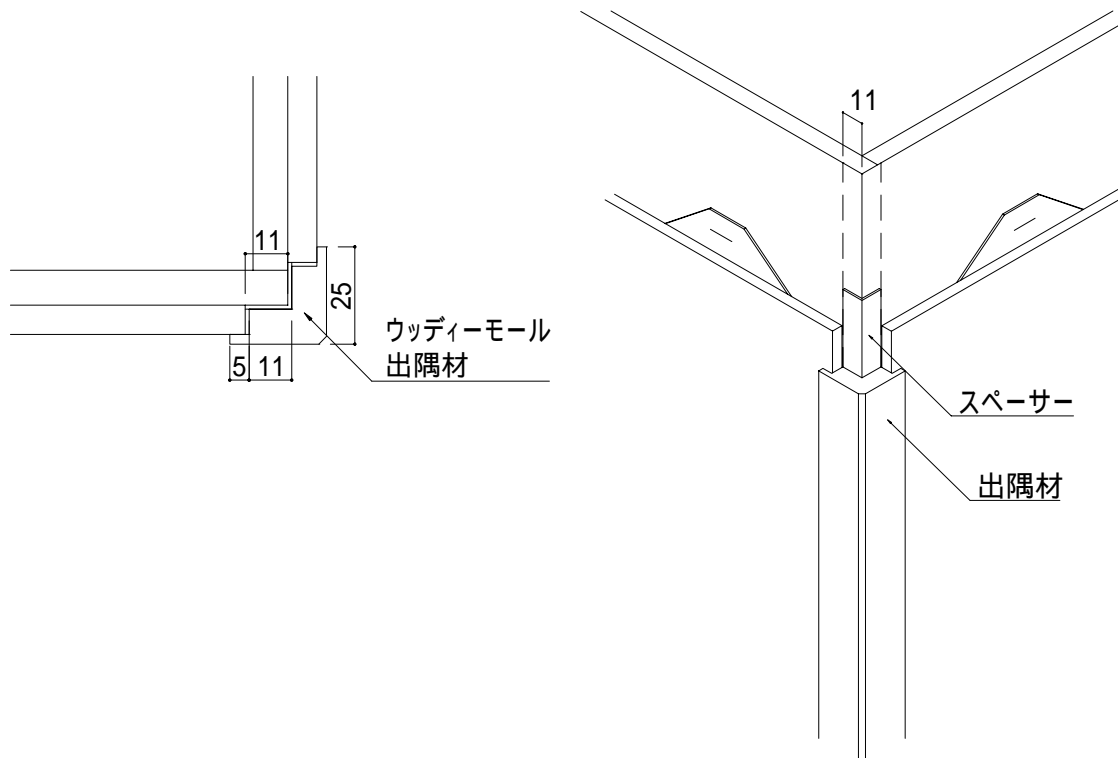
入り隅材の取り付け

ウッディモール入り隅材

出隅の納まり

出隅部はウッディモール出隅材を使用して納めます。

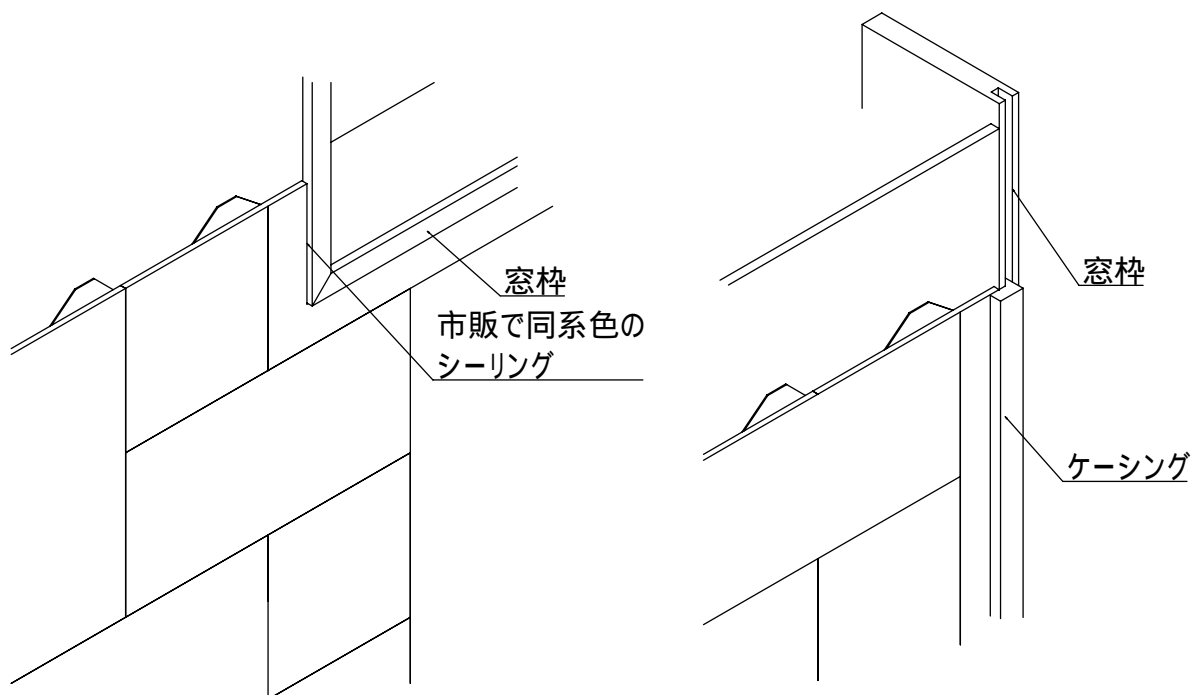
エコカラットを石膏ボードのコーナーから 11mm 控えた位置まで張った後、接着剤とフィニッシュネイラ等を用いて取り付けます。



開口取り合い部の納まり

開口との取り合いは市販で同系色シーリング材(窓枠と同系色のものを使っても結構です。)または市販のケーシングで納めることをお勧めします。

窓との取り合いでは 2mm 程度あけて取り付けます。

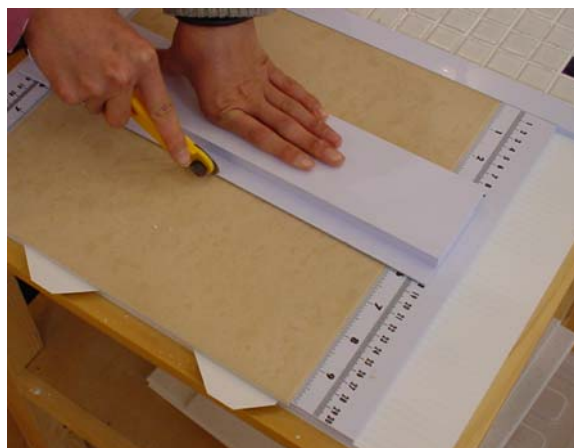


加工編

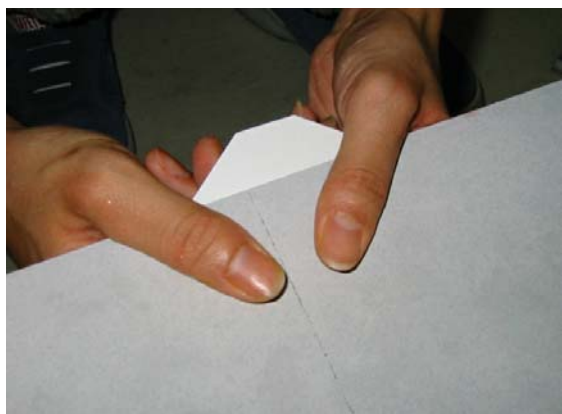
直線切断

303 角平 345 角平 455 角平 ストーン (ブリック)

直線切断には切断台とロータリーカッターを使用します。
必要長さに切断定規を合わせてロータリーカッターで上下
にけがきます。



切断台から取り外してけがいた部分を押し割ります。
押し割る際には手前側で力を入れると簡単に折ることができます。



細くカット (5~25mm) の場合には切断定規の反対側の溝に差し込んで押し割ります。
タイルを裏返して裏紙をカッターナイフで切断します。



△注意

- ・ タッカーを使用する場合は「使用上の注意」をよく読んでから作業を行って下さい。

- ・ ロータリーカッターを使用する際には必ず切断定規を使用して下さい。

プレシャスモザイクカッセ シンプル ロッシュ ブリック

エコカラット専用のカラットホイール（80mm）を80mm対応の防じんマルノコに取り付けて切断します。防じんタイプでも完全にはホコリを除去できない場合もあります。集塵機を併用するか屋外で切断して下さい。



マキタ防じんカッタ 4123KB

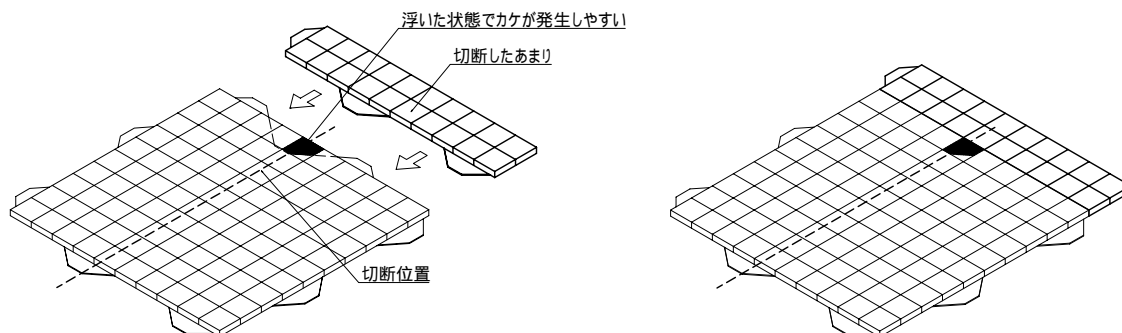
切断は表面側から行って下さい。裏面から加工すると、ピリかけが多くなります。

切断の際には必ず切断定規を使用してください。

切断定規は、定規の上をマルノコベースが走るタイプを使用して下さい。下にスタイロフォーム等を引くと安定します。



プレシャスモザイクカッセの場合、裏紙がない部分は切断時の振動で欠けやすいので、切断したあまりを差し込んで切断して下さい。欠けを防ぐことができます。

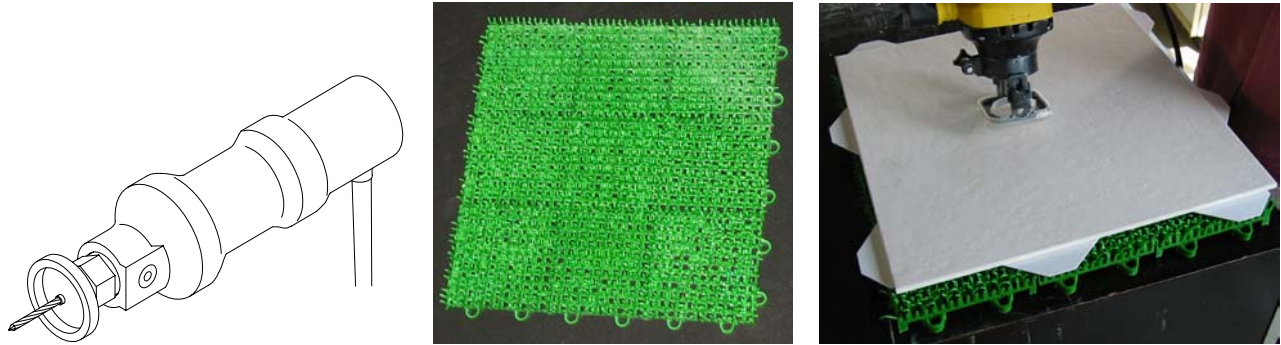


△注意

- ・ 危険ですのでチップソーでは切断しないで下さい。
- ・ マルノコ等回転工具を使用する場合は「使用上の注意」をよく読んでから作業を行って下さい。

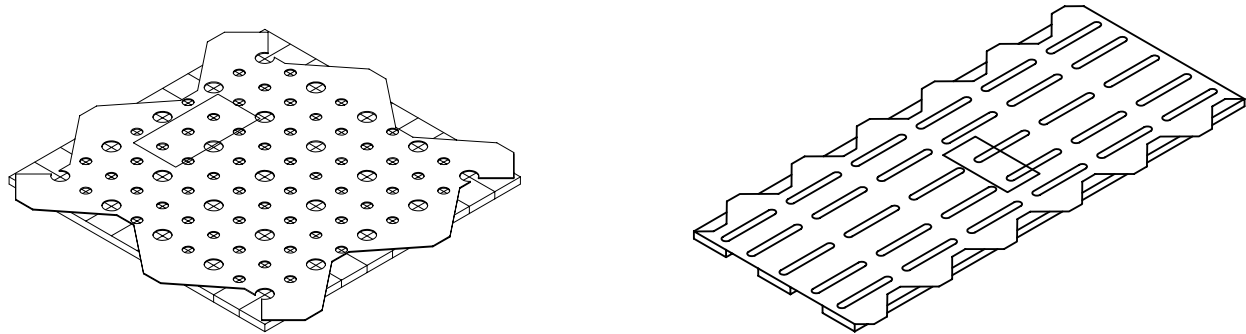
穴あけ加工

穴あけ加工にはトリマーを使用してください。



エコラットの下側に芝生マットを敷くとほこりを少なくすることができます。

凹凸が大きいプレシャスマosaicカッセ・シンプル・ロッシュやブリックの場合は裏側から加工することをおすすめします。



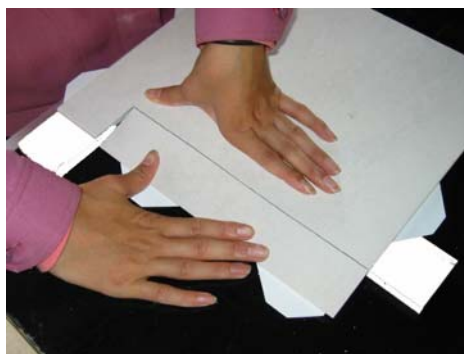
プレシャスマosaicカッセ・シンプル・ロッシュ

ブリック

L字切断

L字切断の場合には短い方をグリットソーまたはトリマーでカットした後、長手方向をロータリーカッターで切がきます。L字の切断台に乗せて押し割ります。

カッセの場合はL字切断もトリマーを使用して下さい。



△注意

- ・ トリマーを使用する場合は「使用上の注意」をよく読んでから作業を行って下さい。

各種見切り材の取り付け

エコカラットの施工が終了した後、ケーシング、巾木、見切り、入り隅材、出隅材を取り付けます。ボンドとフィニッシュネイラを併用して取り付けてください。釘頭は見切り材近似色を使用してください。プレシャスマosaicカッセ・シンプル・ロッシュやブリックは厚さにばらつきを持たせているため巾木を飲み込ませることができません。巾木は先付けとして下さい。



△注意

- ・ フィニッシュネイラを使用する場合は「使用上の注意」をよく読んでから作業を行ってください。

カラットコーク処理

入り隅にはカラットコークを使用します。必ずマスキングテープを貼って処理してください。他部材との取り付け部には、市販で同系色のシーリング材を使ってください。(他部材と同系色のものを使っても結構です。)



△注意

- ・ 必ずマスキングテープを使用して下さい。養生テープなどの粘着力の強いものを使用しますとエコカラットの表面が剥がれることがあります。
- ・ 下地側にカラットコークが付着すると、施工後目地やせが発生し易くなります。万一発生した場合は、少し時間をおいて、充填し直してください。
- ・ 施工時にパッチンカラットや他部材にカラットコークが付着した場合は速やかに濡れタオル等で拭き取ってください。

清掃・点検

現場の清掃を行い、エコカラット表面の汚れ、面段差等の仕上がり確認をします。

特殊施工法

タイルやコンクリート等のタッカーの打てない下地に対してパッチンカラットを施工する場合は以下の方法にて施工して下さい。

1. 下地の確認

下地の精度は $\pm 1\text{mm}/2\text{m}$ 以下であることを確認します。

既存壁面に面段差や浮きがないことを確認します。

下地面の清掃を行い、テープ、接着剤が付着することを確認します。

クロス仕上げの場合は剥がします。

2. 使用材料

| 品名 | 品番 | 備考 |
|--------|----------|-----------------------|
| 接着剤 | RC - S 1 | |
| 仮固定テープ | 現場調達 | 養生テープまたは布粘着テープ 50mm 幅 |

3. 施工方法

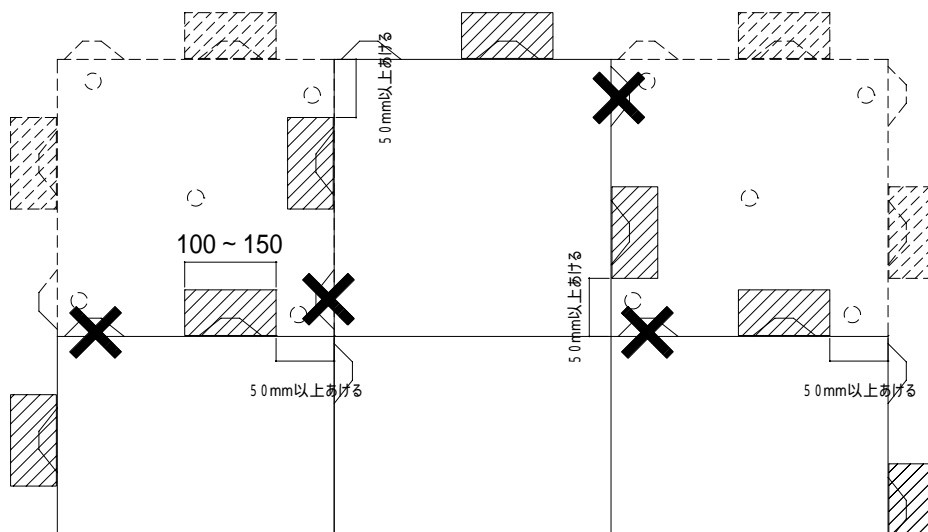
パッチンカラット裏側の穴部分に RC-S1 を塗布します。接着剤は穴がかくれるくらいの量として下さい。

割り付けにあわせてテープで張り付けます。

テープは 50mm 幅の養生テープまたは布粘着テープを使用して下さい。

端から 50mm 以上あけた位置から 100mm ~ 150mm 程度にカットして貼り付けます。

テープ張り付け位置を間違えますと次に施工するエコカラットの接着剤が壁に付かなくなりますので注意して下さい。



△注意

- ・ スーパーエコぬーるは乾燥硬化型のためタイル面等では強度ができません。必ず RC-S1 を使用して下さい。
- ・ エコカラット表面に養生テープや粘着テープを貼らないで下さい。表層が剥がれることがあります。

張って健康「呼吸する壁」



that's the idea !

健 ・ 康 ・ 建 ・ 材

エコカラット

